

⑥ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		授業に含まれているスキルセットのキーワード
(1) データサイエンスとして、統計学を始め様々なデータ処理に関する知識である「数学基礎(統計数理、線形代数、微分積分)」に加え、AIを実現するための手段として「アルゴリズム」、「データ表現」、「プログラミング基礎」の概念や知識の習得を目指す。	1-6	・条件付き確率、分散、標準偏差、相関係数、相関関係と因果関係、確立分布「統計学」4,10,11,12,13回目
	1-7	・確率分布、正規分布、ベクトルと行列、「変数関数の微分法、積分法」「経済統計学」
	2-2	・アルゴリズムの表現(フローチャート)、並び替え(ソート)「統計学」10回目～12回目
	2-7	・アルゴリズムの表現(フローチャート)「データサイエンスⅡ(経済・経営のためのビッグデータの分析)」4回目
	2-2	・コンピュータで扱うデータ(数値、文章、画像、音声、動画など)「データサイエンスⅡ(経済・経営のためのビッグデータの分析)」4回目
(2) AIの歴史から多岐に渡る技術種類や応用分野、更には研究やビジネスの現場において実際にAIを活用する際の構築から運用までの一連の流れを知識として習得するAI基礎的なものに加え、「データサイエンス基礎」、「機械学習の基礎と展望」、及び「深層学習の基礎と展望」から構成される。	1-1	・データ駆動型社会、データサイエンス活用事例(仮説検証、知識発見)「データサイエンスⅡ(経済・経営のためのビッグデータの分析)」2回目
	1-2	・データ分析の進め方、様々なデータ分析手法(回帰、分類)、様々なデータ可視化手法(比較、分布)「統計学」1回目～3回目、7回目～9回目、13回目～15回目
	2-1	・ビッグデータの収集と蓄積、ビッグデータ活用事例、ソーシャルメディアデータ「データサイエンスⅡ(経済・経営のためのビッグデータの分析)」2,3回目
	3-1	・クラウドサービス、ネットワーク「Webプログラミング」2,3回目
	3-1	・AIの歴史、推論、探索、フレーム問題、汎用AI/特化型AI(強いAI/弱いAI)「AI戦略論」2回目
	3-2	・AIの社会的受容性、プライバシー保護、個人情報の取り扱い、AIに関する原則/ガイドライン、AIの信頼性、AIの安全性「AI戦略論」6,7回目
	3-3	・実世界で進む機械学習の応用と発展(需要予測、異常検知、商品推薦など)、機械学習、教師なし学習「AI戦略論」9回目
	3-4	・実世界で進む深層学習の応用と革新(画像認識、自然言語処理、音声生成など)、転移学習「AI戦略論」4回目
	3-5	・実世界で進む生成AIの応用と革新(対話、コンテンツ作成、翻訳・要約・執筆支援など)、基盤モデル、大規模言語モデル、拡散モデル、生成AIの留意事項(ハルシネーションによる誤情報の生成、偽情報や有害コンテンツの生成・氾濫など)「AI戦略論」9回目～11回目
	3-10	・AIの学習と推論、評価、再学習、AIの開発環境と実行環境、AIの社会実装、ビジネス/業務への取り組み「AI戦略論」10,12回目
(3) 本認定制度が育成目標として掲げる「データを人や社会にかかわる課題の解決に活用できる人材」に関する理解や認識の向上に資する実践の場を通じた学習体験を行う学修項目群、応用基礎コアのなかでも特に重要な学修項目群であり、「データエンジニアリング基礎」、及び「データ・AI活用企画・実施・評価」から構成される。	I	・配列、グラフ、関数、引数、戻り値「Webプログラミング」9回目～11回目、15回目
	II	・四則演算「AI戦略論」12,13回目
		・クラウドサービス、ネットワーク「Webプログラミング」9回目～11回目、15回目
		・プライバシー保護、個人情報の取り扱い「AI戦略論」12,13回目
		・実世界で進む機械学習の応用と発展(需要予測、異常検知、商品推薦など)「AI戦略論」13,14回目
		・生成AIの留意事項(ハルシネーションによる誤情報の生成、偽情報や有害コンテンツの生成・氾濫など)「AI戦略論」12,13回目
		・AIの学習と推論、評価、再学習「AI戦略論」14,15回目

⑦ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

① データを収集・処理・蓄積するための技術の概要を理解できるとともに、データ表現の基礎を理解できる。
② コンピュータやAIの基本的な仕組みを説明することができ、それらが実社会とどのように関わっているかを説明できる。
③ AI技術を自らの専門分野に応用し、課題解決につなげる提案ができる。

(和暦)

②履修者・修了者の実績(「学生数」「入学定員」「収容定員」は令和7年5月1日時点で記載)

[illegible]

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① 全学の教員数

(常勤)	92	人
(非常勤)	77	人

② プログラムの授業を教えている教員数(令和7年度)

1	人
---	---

③ プログラムの運営責任者

(責任者名)	内 慶瑞
(役職名)	教学委員長

④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)

(名称)	教学委員会
------	-------

⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

(名称)	金城大学教学委員会規程
------	-------------

⑥ 体制の目的

本教育プログラムは、明日の福祉社会を先導する福祉のリーダー的存在を目指す本学の学生が、データを適切に読み解き、データやAIを適切に利活用できる能力の修得を目的としている。本学卒業生が活躍する社会福祉、医療・健康、看護をはじめ地域社会の様々な現場では、AIの導入やデータの利活用が急速に進んでいる。このような状況から、本教育プログラムは実施後の検証を踏まえて、質の維持・向上を継続していく必要がある。

教学委員会は全学的な組織であり、教育課程の編成を含め、学生の修学に関する全般的事項について検討・運用を行っている。本教育プログラムについても、教学委員会を運営主体とすることで、組織的かつ継続的にプログラムの更なる発展と教育内容の充実を図っていく。

⑦ 具体的な構成員

教学委員長	教授	内 慶瑞
教学副委員長	教授	神谷 晃央
教学委員会	教授	藪下 保弘
教学委員会	教授	竹野 欽昭
教学委員会	教授	柴田 紀子
教学委員会	教授	斎藤 修啓
教学委員会	教授	金谷 雅代
教学委員会	准教授	山本 拓哉
教学委員会	准教授	松井 弘美
教学委員会	准教授	久富 郁代子
教学委員会	准教授	野村 智宏
教学委員会	准教授	曾根 志穂
教学委員会	准教授	境 美砂子
教学委員会	講師	渡邊 亮士
教学委員会	講師	吉武 将司
教学委員会	講師	松田 美紀
教学委員会	講師	伊藤 友香
教学委員会	助教	東 利紀

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画

令和7年度履修率	37%
令和8年度予定	45%
令和9年度予定	50%
令和10年度予定	55%
令和11年度予定	60%

具体的な計画

令和7年度の本教育プログラム開始にあたり、新入生オリエンテーションで案内チラシを配付して説明を行った。令和7年度開講の本教育プログラム修了要件の1科目が卒業必修科目であるため、令和7年度は全学生が履修した。今後の学年進行とともに履修者数を維持できるよう、令和8年度は前期、後期の学期始めのオリエンテーション時に、対象学年となる学生へ本教育プログラムの有用性を改めて説明して履修を促す。また、学内ポータルサイトやSNS等による学生への発信も行う。令和8年度、令和9年度の履修率が目標数値に届かない場合は、令和10年度以降は選択科目を「卒業必修科目へ変更する」または「他の卒業必修科目履修に際しての事前履修が必要な科目として設定する」ことを検討する。

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

修了要件科目のうち、卒業選択科目は、当該科目を必修科目と必修科目の間の時間帯に設定するなど、学生が履修しやすいよう工夫する。また、今後の履修者数の推移を勘案し、当該科目を必修科目またはそれに準じた科目へ変更することも検討していく。

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

令和7年度の本教育プログラム開始にあたり、新入生オリエンテーションで案内チラシを配付して説明を行った。令和8年度は前期、後期の学期始めのオリエンテーション時に、対象学年となる学生へ本教育プログラムの有用性を改めて説明し周知を図る。また、学内ポータルサイトやSNS等による学生への発信を行う。あわせて、学生向けの本教育プログラム説明会を開催し、データサイエンス・AI教育の必要性について理解を促す。

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

学生の修学指導を担当する教員を含め、全教員を対象として本教育プログラムに関するFDSD研修を開催し、データサイエンス・AI教育の必要性について教職員の理解を深める。そのうえで、教学委員会教員や修学指導担当教員を中心として、学生からの個別相談や苦手分野の克服に関してアドバイスや集合型のリメディアル教育を行い、学生の履修サポートを行う。

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

リアクションペーパー等により、学生の理解度について状況を把握するとともに、理解が不十分と考えられる内容については、授業内で補充説明を行っている。また、個別の質問に対応できるよう、全履修学生をGoogle classroomへ登録し、授業担当教員と直接連絡が取れる体制としている。加えて、教員のオフィスアワーを固定曜日の時間帯で設定し、学生が自由に対面またはオンラインで相談できる機会を設けている。

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制 自己点検・評価委員会

(責任者名) 佐々木 賢太郎

(役職名) 自己点検・評価委員長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点		自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点		
プログラムの履修・修得状況		本教育プログラムは、令和7年度以降入学生を対象とするものであり、令和7年度開講科目は卒業必修科目のみであったため、全学生の111人が履修した。令和8年度以降には卒業選択科目が開講されるため、履修者数と履修率を維持できるよう継続した周知を行う。本教育プログラムが開設初年度であり、学生の認知度はまだ低いと考えられるため、今後は学生への丁寧な説明と周知が必要である。
学修成果		本教育プログラムでは、AIを活用し課題解決につなげる基礎能力を身に付けることを目的としている。各科目において、課題レポートやディスカッションを実施し、担当教員から学生へフィードバックを行うことで、学生の理解が深まるように努め、学修成果の確認を行っている。今後は、本教育プログラム修了者、履修者を対象としてアンケートを実施し、教育目標を達成していることを確認する。
学生アンケート等を通じた学生の 内容の理解度		全科目を対象に授業アンケートを実施している。本教育プログラム科目においても、複数の項目について調査を行い、その回答結果を分析することで、学生の理解度を把握している。令和7年度の授業アンケートの結果によれば、全授業科目の平均値を上回る結果となった。これにより、学生の授業内容の理解については、一定の評価を得ていると判断できる。
学生アンケート等を通じた後輩等 他の学生への推奨度		本プログラムは実施初年度であり、修了者に対するアンケートは未実施であるが、授業内で得られたフィードバックコメントでは、学修内容の有用性が段階的に学べるプログラムへの肯定的な意見が多く、今後のアンケートにおいても一定の推奨以降が示されることが期待できる。当該アンケートの結果を踏まえて、教育内容の改善を検討する必要がある。
全学的な履修者数、履修率向上 に向けた計画の達成・進捗状況		令和7年度の本教育プログラム開始にあたり、新入生オリエンテーションで案内チラシを配付して説明を行ったが、学生に当プログラムの魅力が十分に伝わっていない可能性がある。当プログラムへの学生の認知度も低いと見られることから、周知方法や説明内容の改善が必要である。学内ポータルサイトやSNS等による学生への発信など、周知に係る様々な取組が急務であると言える。

自己点検・評価の視点		自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学外からの視点		
	教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	本教育プログラムは、令和7年度以降入学生を対象とするものであり、修了者の卒業は令和10年度以降となる。本学では卒業生を対象とした「卒業生アンケート」を実施しており、修了者の進路や活躍状況は当該アンケートの活用により把握する予定である。また、卒業生の就職先を含む企業を対象としたアンケートも実施しているため、企業等からの評価は当該アンケートの活用により把握する予定である。
	産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	本教育プログラムは、令和7年度から開始したものであり、現時点では産業界からの評価実績はないが、企業の経営者からは「これからの時代にはどの業界においても、データサイエンス、AIの技術は業務に取り入れる必要である。」との意見が多数寄せられている。今後は当教育プログラムに関する産業界からの評価アンケートを実施し、意見をもとに改善を図る必要がある。また、地元企業や福祉施設等との連携によるPBL(課題解決型学修)を積極的に導入し、教育の質の向上に努めていく。
	数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	本教育プログラムは加速するデジタル社会、いわゆるSociety5.0時代において必要とされる数理・データサイエンス・AIに関する知識や技術の修得を図ることを重視し、プログラムの展開を進めている。授業は、科学分野が得意な学生のみならず、科学に苦手意識を持つ学生にも配慮した構成とし、誰もが理解を深めることができるよう教材の作成等を行っている。また、授業担当教員は各学部学生の卒業後の進路(職域)に即した具体的事例を題材とし、実践的かつ身近な内容で授業を展開し、当プログラムの楽しさや意義を理解してもらえるように努めている。
	内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること ※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載	本プログラムでは、数理・データサイエンス・AIに関する広範な内容を扱っており、学生がこれらの分野に対して幅広い知識を修得することを目的としている。全体を通じて基礎的かつ多面的な理解を深めることを重視している一方で、企業や教育機関などの実社会における現場レベルでの活用に向けては、今後さらなる知識と実践的経験の積み重ねが必要であると認識している。自ら調べ、考え、解決策を導き出す力の育成が重要であり、学生一人ひとりが社会に出た際に直面しうる現実的な課題に対し、その本質を見極め、論理的に解決へ導くための思考力と判断力を養う教育を展開している。

年度	2025
講義名称	統計学e
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	2.0
科目群（区分）	専門基本
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施無し
開講時期	1年前期
必修・選択	必修
卒業認定・学位授与の方針との関連	総合経済学科（2）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学総合経済学部総合経済学科	93160001

担当教員

氏名	所属
◎ 木村 剛	大学・総合経済学部・総合経済学科

授業概要	調査などによって得られたデータは、調査対象の個性を反映したバラツキを持つ。統計学は、そのようなデータを集計し、集団としての特徴を表現するための手法として重要である。本講義では、データの収集・集計方法と、得られたデータから母集団の特徴を推定する手法、集団間の差異について確率を用いて判定する統計的仮説検定、及び相関や回帰といった複数のデータ間の関係を分析する手法について学修するとともに、実際のデータ処理演習を行う。
到達目標	標本調査によって得られたデータの特徴の表し方を修得した上で、場合に応じて母集合の統計量を推定できるようになること。また、統計的検定法の基礎を修得し、調査で得られたデータに対して基本的な統計的処理を行い、その結果を表現できるようになること。

授業計画表

授業計画表

第1回	【授業計画】	
	統計的なものの見方	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	Excelによる表やグラフの作成、および基本的な関数を使ったデータの集計についての学修	240
第2回	【授業計画】	
	記述統計	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	記述統計の復習	240
第3回	【授業計画】	
	記述統計演習	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	記述統計演習の復習	240
第4回	【授業計画】	
	確率	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	確率の復習	240
第5回	【授業計画】	
	推測統計	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	推測統計の復習	240

第6回	【授業計画】	
	推測統計演習	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	推測統計演習の復習	240
第7回	【授業計画】	
	統計的仮説検定 1（検定の手順と考え方）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	検定の復習	240
第8回	【授業計画】	
	統計的仮説検定 2（検定統計量と結果の表現）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	検定の復習	240
第9回	【授業計画】	
	統計的仮説検定演習	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	検定演習の復習	240
第10回	【授業計画】	
	相関と回帰	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	相関と回帰の復習	240
第11回	【授業計画】	
	クロス集計	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	クロス集計の復習	240
第12回	【授業計画】	
	相関と回帰、クロス集計演習	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	相関と回帰、クロス集計演習の復習	240
第13回	【授業計画】	
	分散分析	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	分散分析の復習	240
第14回	【授業計画】	
	多重比較検定とノンパラメトリックな手法	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	多重比較検定とノンパラメトリックな手法の復習	240
第15回	【授業計画】	
	分散分析演習	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	分散分析演習の復習	240

履修に必要な予備知識や技能	Excelによる表やグラフの作成、および基本的な関数を使ったデータの集計の学修
課題に対してのフィードバック	演習課題は、添削結果を次回以降の講義内で返却し、講評する
評価方法・基準	基準：小テスト（20%）、レポート課題（80%）　但し、講義への貢献状況により最大40%まで減点
教科書	使用教科書なし。必要に応じてプリントを配付する
備考	なし
実務経験の内容・期間	なし

年度	2025
講義名称	データサイエンスII（経済・経営のためのビッグデータの分析）
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	2.0
科目群（区分）	専門基本
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	2年前期
必修・選択	必修
卒業認定・学位授与の方針との関連	総合経済学科（2）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学総合経済学部総合経済学科	93160004

担当教員

氏名	所属
◎ 齊藤 実祥	大学・総合経済学部・総合経済学科

授業概要	ICT機器の発展と、ICT機器やサービスの利用の拡大により大量のデータが蓄積されるようになったことで、それらのデータを活用した新しい取り組みが可能になっている。そのため、実社会における様々な問題の解決や、新しい課題の発見のために、身の回りにあるデータを活用できる能力が求められている。また、データによる裏付けに基づいて、新しい価値を創造できる人材の養成が必要となっている。この講義では、様々なデータの具体的な分析手法を紹介し、実際のデータの処理方法について学修する。
到達目標	データを基に意思決定を行う、データサイエンスの重要性を理解すること。データを分析する手法、および可視化する手法を理解し、状況に応じた適切な使い方を修得すること。

授業計画表

授業計画表

第1回	【授業計画】	
	ガイダンス	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	ガイダンスについての復習	240
第2回	【授業計画】	
	社会におけるデータの利活用	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	社会におけるデータの利活用の復習	240
第3回	【授業計画】	
	オープンデータの利用	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	オープンデータの利用の復習	240
第4回	【授業計画】	
	BIツール入門	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	BIツール入門の復習	240
第5回	【授業計画】	
	BIツール演習①可視化してみよう	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	BIツール演習①可視化してみようの復習	240

第6回	【授業計画】	
	BIツール演習②分かりやすさ・伝わりやすさを考える	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	BIツール演習②分かりやすさ・伝わりやすさを考えるの復習	240
第7回	【授業計画】	
	データに基づく意思決定	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	データに基づく意思決定の復習	240
第8回	【授業計画】	
	散布図、相関、クロス集計	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	散布図、相関、クロス集計の復習	240
第9回	【授業計画】	
	回帰分析	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	回帰分析の復習	240
第10回	【授業計画】	
	時系列データの分析	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	時系列データの分析の復習	240
第11回	【授業計画】	
	主成分分析、因子分析	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	主成分分析、因子分析の復習	240
第12回	【授業計画】	
	クラスター分析	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	クラスター分析の復習	240
第13回	【授業計画】	
	簡単な数理モデルの構築	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	簡単な数理モデルの構築の復習	240
第14回	【授業計画】	
	数理モデルの評価	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	数理モデルの評価の復習	240
第15回	【授業計画】	
	総復習とまとめ	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	フィードバックに基づいた振り返り	240

履修に必要な予備知識や技能	基礎数学レベルの数学、統計学、及びデータサイエンスⅠ（データサイエンスの基礎）の復習
課題に対してのフィードバック	進行状況に応じて、講義内で適宜解説
評価方法・基準	基準：授業内課題（100％）但し、講義への貢献状況により最大40％まで減点
教科書	使用教科書なし。必要に応じてプリントを配付する
備考	なし
実務経験の内容・期間	なし

年度	2025
講義名称	経済統計学
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	2.0
科目群（区分）	専門展開
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施無し
開講時期	2年前期
必修・選択	選択
卒業認定・学位授与の方針との関連	総合経済学科（2）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学総合経済学部総合経済学科	94210001

担当教員

氏名	所属
◎ 齊藤 実祥	大学・総合経済学部・総合経済学科

授業概要	計量経済学の講義を理解するために必須となる統計学の知識に絞って、解説する。統計学、データサイエンス系の科目でデータの取り扱い、統計学の入門的な知識は持つことを前提に講義する。第1回から第5回は統計学の基礎的内容の復習であり、第6回から計量経済モデルで必要となる回帰分析について講義する。データ分析例では、R或いは、エクセルでの実習を含む。
到達目標	線形回帰モデルの拡張として、非線形、重回帰、ダミー変数、ラグモデルを計算できる。

授業計画表

授業計画表			
第1回	【授業計画】		
	記述統計的なデータの整理法 データの種類、特徴量の抽出、特性値、計算、グラフ化（見える化）について解説する。		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
シラバスを読み、授業の全体的な流れを理解しておく		240	
第2回	【授業計画】		
	確率分布と確率変数 離散型、連続型の確率分布の説明と、対応するデータの例を説明する。		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
前回授業時に配付したプリントをもとにノートにまとめる		240	
第3回	【授業計画】		
	正規分布 正規分布の成り立ち、性質（再生性、線形性）、中心極限定理、等の主要な性質となぜ正規分布が多く分析で用いられるかを説明する。		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
前回授業時に配付したプリントをもとにノートにまとめる		240	
第4回	【授業計画】		
	統計量 母集団と標本抽出の考えを説明する。標本に基づいた統計量の考え方、統計量の性質について、解説する。		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
前回授業時に配付したプリントをもとにノートにまとめる		240	

第5回	【授業計画】	
	標本分布：カイ2乗分布、 t 分布、F分布 計量経済学で標準的に仮定する線形回帰モデルの誤差項に正規分布を仮定した議論を行う。性質を調べ、検討で正規分布から派生するカイ2乗分布、 t 分布、F分布について説明	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業時に配付したプリントをもとにノートにまとめる	240
第6回	【授業計画】	
	地点推定、区間推定、最尤推定法、最小2乗法	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業時に配付したプリントをもとにノートにまとめる	240
第7回	【授業計画】	
	検定 モデルの適合性を検証する手段として、検定について説明する。基部仮設、対立仮設の作り方、棄却と採択の解釈、検出力、臨界値について使えるようにする。	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業時に配付したプリントをもとにノートにまとめる	240
第8回	【授業計画】	
	回帰モデルと最小2乗推定 回帰モデルにおける係数の推定で用いられる最小2乗推定法について説明する。	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業時に配付したプリントをもとにノートにまとめる	240
第9回	【授業計画】	
	回帰モデルの決定係数と残差分析 回帰モデルの当てはまりの良さを示す決定係数を求める。加えて、残差分析で残差の傾向を見ることでモデルでは説明できない経済現象を見つけることができる。	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業時に配付したプリントをもとにノートにまとめる	240
第10回	【授業計画】	
	モデルの拡張 線形回帰モデルの拡張として、非線形、重回帰、ダミー変数、ラグモデルを計算できるようにする。	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業時に配付したプリントをもとにノートにまとめる	240
第11回	【授業計画】	
	最小2乗推定量の統計的性質 最小2乗推定量は、広く使われる推定法でその性質を知ることが重要である。推定量の性質として、不偏性、有効性、一致性について解説する。	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業時に配付したプリントをもとにノートにまとめる	240
第12回	【授業計画】	
	誤差分散と最小2乗推定量の分散 誤差分散の不偏推定量の導出、以降の検定で用いられる最小2乗推定量の分散を導出する。	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業時に配付したプリントをもとにノートにまとめる	240
第13回	【授業計画】	
	回帰モデルの検定と予測：回帰係数のt検定 回帰係数の平均的なふるまいを調べて、帰無仮説と対立仮説を立て、t検定を行う手順を解説する。	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業時に配付したプリントをもとにノートにまとめる	240

第14回	【授業計画】	
	回帰モデルの検定と予測：回帰係数のF検定 複数の回帰係数の推定値の組み合わせがモデルに適合するかどうかの検討手順でF検定の解説を行う。	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業時に配付したプリントをもとにノートにまとめる	240
第15回	【授業計画】	
	まとめ	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業時に配付したプリントをもとにノートにまとめる	240

履修に必要な予備知識や技能	統計学、データサイエンス系の科目の履修が望ましい。
課題に対してのフィードバック	レポートにはコメントを付して、改善点を明示する。
評価方法・基準	期末テスト　５０％、　レポート　５０％
教科書	初回ガイダンスで紹介する
備考	なし
実務経験の内容・期間	なし

年度	2025
講義名称	W e bプログラミング
開講責任部署	大学
講義区分	演習
基準単位数	1.0
科目群（区分）	専門基本
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	2年後期
必修・選択	選択
卒業認定・学位授与の方針との関連	総合経済学科（2）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学総合経済学部総合経済学科	93260007

担当教員

氏名	所属
◎ 木村 剛	大学・総合経済学部・総合経済学科

授業概要	情報化の進展により電子化された大量の情報が発信されており、Webページはその代表的なツールの1つである。そこで本講義では、Webページの作成に利用されるHTML言語の基礎と、Webページのデザインに関する記述を行うCSSの基礎的知識、及びインターネット上で提供されるWebページ作成サービスの利用方法について学ぶ。また、JavaScriptをベースとした基礎的なプログラミング技術を修得し、Webページとプログラミングの連携について学修する。
到達目標	基礎的なWebページが作成できるようになること。プログラミングの基礎を修得し、オンラインサービスを活用したWebページの動的な更新を行なえるようになること。

授業計画表

授業計画表

第1回	【授業計画】	
	オリエンテーション	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	基本操作の復習	60
第2回	【授業計画】	
	WWWの仕組み	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	WWWの仕組みについての復習	60
第3回	【授業計画】	
	HTMLとCSS	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	HTMLとCSSの復習	60
第4回	【授業計画】	
	簡単なWebページの作成①（タグとスタイル入門）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	簡単なWebページの作成①（タグとスタイル入門）の復習	60
第5回	【授業計画】	
	簡単なWebページの作成②（表や画像の活用）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	簡単なWebページの作成②（表や画像の活用）の復習	60

第6回	【授業計画】	
	簡単なWebページの作成③（簡単なWebページの作成）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	簡単なWebページの作成③（簡単なWebページの作成）の復習	60
第7回	【授業計画】	
	Googleサイトの利用①（テンプレートの利用）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	Googleサイトの利用①（テンプレートの利用）の復習	60
第8回	【授業計画】	
	Googleサイトの利用②（簡単なWebサイトの作成）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	Googleサイトの利用②（簡単なWebサイトの作成）の復習	60
第9回	【授業計画】	
	GAS入門①（プロジェクト・スクリプト）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	GAS入門①（プロジェクト・スクリプト）の復習	60
第10回	【授業計画】	
	GAS入門②（変数・条件分岐・繰り返し）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	GAS入門②（変数・条件分岐・繰り返し）の復習	60
第11回	【授業計画】	
	GAS入門③（コマンド・トリガー）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	GAS入門③（コマンド・トリガー）の復習	60
第12回	【授業計画】	
	Googleサービスとの連携①（スプレッドシート）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	Googleサービスとの連携①（スプレッドシート）の復習	60
第13回	【授業計画】	
	Googleサービスとの連携②（ドキュメント）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	Googleサービスとの連携②（ドキュメント）の復習	60
第14回	【授業計画】	
	Googleサービスとの連携③（フォーム）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	Googleサービスとの連携③（フォーム）の復習	60
第15回	【授業計画】	
	総まとめ、グループワーク	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	フィードバックに基づいた振り返り	60

履修に必要な予備知識や技能	インターネット検索等で、Webページの作成方法について簡単に調べておくこと
課題に対してのフィードバック	進行状況に応じて、講義内で適宜解説
評価方法・基準	基準：授業内課題（100％）但し、講義への貢献状況により最大40％まで減点
教科書	使用教科書なし。必要に応じてプリントを配付する
備考	なし
実務経験の内容・期間	なし

年度	2025
講義名称	A I 戦略論
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	2.0
科目群（区分）	専門基本
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	3年後期
必修・選択	選択
卒業認定・学位授与の方針との関連	総合経済学科（2）

担当教員

氏名	所属
◎ 川邊 弘之	大学・人間社会科学部・社会福祉学科

授業概要	AI(人工知能)と呼ばれる技術は、私たちの生活の中に急速に浸透してきた。そして、企業ではAIの導入が盛んに行われている。AIとは何か、そしてAIと社会、特に経済学とはどのように関係しているのか。本講義では、AIの過去、進化の現状と未来への展望、そしてビジネスへの適用事例と課題について解説し、AIにおける「予測」と「意思決定」とは何かを理解する。さらに、AIという技術を用いて、どのようなツールが開発されてきたのかを事例と併せて学修し、社会人としての倫理を踏まえて、AIの限界と人間の可能性について議論する。
到達目標	最新のAI技術動向とその限界を理解し説明できるようになる。AIをビジネスに導入する際に必要な知識を理解し説明できるようになる。

授業計画表

授業計画表			
第1回	【授業計画】		
	イントロダクション、AIとは		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	最新のAI動向をネットで調べておく。	30	
第2回	【授業計画】		
	AIの基礎知識（1）歴史、種類		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	教科書該当範囲を熟読の上、最新的话题をネットで検索してみる。	45	
第3回	【授業計画】		
	AIの基礎知識（2）機械学習		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	教科書該当範囲を熟読の上、最新的话题をネットで検索してみる。	45	
第4回	【授業計画】		
	AIの基礎知識（3）深層学習		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	教科書該当範囲を熟読の上、最新的话题をネットで検索してみる。	45	
第5回	【授業計画】		
	AIプロジェクト（1）AI導入に適した課題		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	教科書該当範囲を熟読の上、最新的话题をネットで検索してみる。	45	

第6回	【授業計画】	
	AIプロジェクト（2）開発プロセス、契約モデル	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書該当範囲を熟読の上、最新の話題をネットで検索してみる。	45
第7回	【授業計画】	
	AIプロジェクト（3）知的財産権、個人情報	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書該当範囲を熟読の上、最新の話題をネットで検索してみる。	45
第8回	【授業計画】	
	AIプロジェクト（4）見振り	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書該当範囲を熟読の上、最新の話題をネットで検索してみる。	45
第9回	【授業計画】	
	AIサービスの提供（1）AIの提供方式	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書該当範囲を熟読の上、最新の話題をネットで検索してみる。	45
第10回	【授業計画】	
	AIサービスの提供（2）クラウド・オンプレミスの選択肢	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書該当範囲を熟読の上、最新の話題をネットで検索してみる。	45
第11回	【授業計画】	
	AIサービスの提供（3）サービスオペレーション	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書該当範囲を熟読の上、最新の話題をネットで検索してみる。	45
第12回	【授業計画】	
	AIプロジェクト・ケーススタディ（1）総論	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書該当範囲を熟読の上、最新の話題をネットで検索してみる。	45
第13回	【授業計画】	
	AIプロジェクト・ケーススタディ（2）農業、建設	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書該当範囲を熟読の上、最新の話題をネットで検索してみる。	45
第14回	【授業計画】	
	AIプロジェクト・ケーススタディ（3）医療、小売	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書該当範囲を熟読の上、最新の話題をネットで検索してみる。	45
第15回	【授業計画】	
	まとめ	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	これまでの授業内容をまとめてみる。	120

履修に必要な予備知識や技能	情報処理演習、データサイエンスの授業内容を復習しておくこと。
課題に対してのフィードバック	課題や期末試験の結果を知りたい場合、研究室を訪ねて欲しい。
評価方法・基準	期末試験または課題レポートで評価するが、授業態度が良好でない等の場合、評価を最大20%減ずる。
教科書	課題解決とサービス実装のための AIプロジェクト 実装読本（山本大祐、マイナビ）
備考	授業中に私が発した種々の質問・疑問を題材に教員と学生、学生間で議論しつつ授業が展開される。
実務経験の内容・期間	なし

年度	2025
講義名称	基礎数学
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	2.0
科目群（区分）	主題
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施無し
開講時期	1年前期
必修・選択	選択
卒業認定・学位授与の方針との関連	総合経済学科（1）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学総合経済学部総合経済学科	92200003

担当教員

氏名	所属
◎ 木村 剛	大学・総合経済学部・総合経済学科

授業概要	実験・調査等によって集められた情報を理解して分析するには、数字や数式を用いた定量的な表現ができなければならない。本講義では、数字や数式を使った情報伝達のポイントを理解すること、および数字や基本的な数式を使って状況を表現する方法の修得を目的とする。そのため、最初の5回では基礎的な多項式関数、中盤の5回は指数関数・対数関数・三角関数などの初等的な関数の特徴を扱う。後半の5回では、量と向きという2つの情報を同時に表現できるベクトルの特徴を扱う。
到達目標	多項式関数、指数関数、対数関数、三角関数、及びスカラー量とベクトル量についての基本的な特徴・性質を理解すること。また、これらに対する基本的な演算を行うことができ、数字や数式を使って状況が表現できるようになること。

授業計画表

授業計画表

第1回	【授業計画】	
	数値の読み取りと表現	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	数値の読み取りと、グラフの作成の復習	240
第2回	【授業計画】	
	1次関数	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	1次関数の復習	240
第3回	【授業計画】	
	2次関数	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	2次関数の復習	240
第4回	【授業計画】	
	分数関数	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	分数関数の復習	240
第5回	【授業計画】	
	点と線と面	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	点と線と面の復習	240

第6回	【授業計画】	
	小テスト1とフィードバック	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	1回目～5回目の復習	240
第7回	【授業計画】	
	指数関数	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	指数の復習	240
第8回	【授業計画】	
	関数と逆関数	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	関数と逆関数の復習	240
第9回	【授業計画】	
	対数関数	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	対数関数の復習	240
第10回	【授業計画】	
	三角関数	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	三角関数の予習・復習	240
第11回	【授業計画】	
	小テスト2とフィードバック	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	7回目～10回目の復習	240
第12回	【授業計画】	
	スカラー量とベクトル量	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	スカラー量とベクトル量の復習	240
第13回	【授業計画】	
	ベクトル量の計算法則（和と差）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	ベクトル量の計算法則（和と差）の復習	240
第14回	【授業計画】	
	ベクトル量の計算法則（内積と外積）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	ベクトル量の計算法則（内積と外積）の復習	240
第15回	【授業計画】	
	ベクトル方程式	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	ベクトル量の実践応用の復習	240

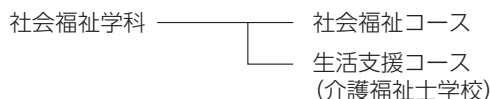
履修に必要な予備知識や技能	多項式関数の復習、座標系における数値の表現
課題に対してのフィードバック	演習課題は、添削結果を次回以降の講義内で返却し、講評する
評価方法・基準	基準：小テスト（40％）と定期試験（60％）の成績、但し、講義への貢献状況により最大40％まで減点
教科書	使用教科書なし。必要に応じてプリントを配付する。
備考	なし
実務経験の内容・期間	なし



教育課程

1. 社会福祉学科教育課程表

人間社会学部社会福祉学科は社会福祉コース、生活支援コースに分けられ、学科及びコースの特性に応じた教育課程を定めています。



社会福祉学科のコース決定は、2年前期初めに決定します。生活支援コースは、厚生労働省より定員30人の介護福祉士学校として指定されています。そのため、指定科目を履修して卒業すれば、介護福祉士国家試験受験資格が得られます。

なお、配当年次については、変更する可能性があります。

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考		ナンバリング
			必修	選択				
基礎科目	スポーツ	1前	1		1			11101001
	スポーツ理論	1後	2		1			11101002
	レクリエーション活動Ⅰ	1前		1	1			11200011
	レクリエーション活動Ⅱ	1後		1	1			11200012
	英語Ⅰ	1前	1		1			11101021
	英語Ⅱ	1後	1		1			11101022
	英語Ⅲ	2前	1		1			11100023
	英語Ⅳ	2後		1	1			11200024
	言葉と文化(英語)Ⅰ	2前		1	1	外国語系	英語または中国語を選択し 2単位以上	11200025
	言葉と文化(英語)Ⅱ	2後		1	1			11200026
	言葉と文化(中国語)Ⅰ	1前		1	1			11200031
	言葉と文化(中国語)Ⅱ	1後		1	1			11200032
	言葉と文化(英語)Ⅲ	3前		1	1			11200027
	言葉と文化(英語)Ⅳ	3後		1	1			11200028
	言葉と文化(中国語)Ⅲ	2前		1	1			11200033
	言葉と文化(中国語)Ⅳ	2後		1	1			11200034
	学習方法演習Ⅰ	1前	1		1			11100091
	学習方法演習Ⅱ	1後	1		1			11100092
	基礎演習Ⅰ	2前	1		1			11100093
	基礎演習Ⅱ	2後	1		1			11100094
	情報処理演習Ⅰ	1後		1	1	情報系	1単位以上	11201061
	情報処理演習Ⅱ	2前		1	1			11201062
主観科目	ボランティア入門	1前	2		1			12100001
	ボランティア活動Ⅰ	1通		1	集中			12200002
	ボランティア活動Ⅱ	2通		1	集中			12200003
	健康科学	1前		2	1			12200011
	生命科学	3後		2	1			12200012

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考		ナンバリング
			必修	選択				
主 題 科 目	自然科学	2前		2	1	主題科目群から8単位以上		12200013
	美術	1前		1	1			12200021
	音楽	1後		1	1			12200022
	日本文学	1前		2	1			12200031
	日本語表現	1後		2	1			12200032
	哲学	3後		2	1			12203041
	宗教学	3前		2	1			12203042
	日本史Ⅰ	2前		2	1			12203051
	日本史Ⅱ	2前		2	1			12203052
	東洋史	4後		2	1			12203053
	西洋史	4前		2	1			12203054
	自然地理	4前		2	1			12203055
	人文地理	3前		2	1			12203056
	地誌	4後		2	1			12203057
	白山市の自然と文化	3後		2	1			12200014
	法学(憲法)Ⅰ	2前		2	1			12201043
	法学Ⅱ	2後		2	1			12200044
	政治学	3後		2	1			12203043
	経済学Ⅰ	2後		2	1			12203044
	経済学Ⅱ	3前		2	1			12203045
	データサイエンス	2後		1	1	8回授業	12200060	
	統計学	4前		2	1		12200015	
	教養ゼミⅠ	1前		1	1		12200091	
教養ゼミⅡ	1後		1	1	12200092			
	教養ゼミⅢ	2前		1	1		12200093	
専 門 基 本 科 目	社会福祉概論Ⅰ	1前	2		1			13114101
	社会福祉概論Ⅱ	1後	2		1			13114002
	高齢者福祉論	1前	2		1			13114111
	障害者福祉論	1後	2		1			13114112
	介護福祉論Ⅰ	1前	2		1			13104221
	社会保障論Ⅰ	2前	2		1			13113131
	社会保障論Ⅱ	2後	2		1			13113132
	児童・家庭福祉論	2後		2	1	A群	A群7科目から8単位以上	13214013
	社会福祉史	1後		2	1			13204061
	介護福祉論Ⅱ	1後		2	1			13204222
	介護福祉論Ⅲ	3前		2	1			13200323
	心理学Ⅰ	1前		2	1			13213351
	心理学Ⅱ	1後		2	1			13213052
	社会学	1前		2	1			13213053
	公的扶助論	3前		2	1	B群	B群8科目から2単位以上	13213014
	地域福祉論Ⅰ	2前		2	1			13210041
	地域福祉論Ⅱ	2後		2	1			13210042
	社会福祉施設経営論	2後		2	1			13210054
	社会調査	3前		2	1			13210055
	医療福祉論	3後		2	1			13210034
権利擁護と成年後見	2前		2	1	13210036			
	刑事司法と福祉	4前		2	1		13210037	

	科目名	配当年次	単位数		週授業 回数	備考	ナンバ リング
			必修	選択			
専門展開科目	ソーシャルワーク論Ⅰ	1前		2	1	ソーシャルワーク系 ソーシャルワーク系11科目 から8単位以上	14214001
	ソーシャルワーク論Ⅱ	1後		2	1		14214002
	ソーシャルワーク論Ⅲ	2前		2	1		14214003
	ソーシャルワーク論Ⅳ	2後		2	1		14214004
	ソーシャルワーク論Ⅴ	3前		2	1		14214005
	ソーシャルワーク論Ⅵ	3後		2	1		14214006
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2後		1	1		14210280
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	3前		1	1		14210081
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	3後		1	1		14210082
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	4前		1	1		14210083
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	4後		1	1		14210084
	発達心理学Ⅰ	2前		2	1	心理学系・医療系 心理学・医療系科目を 含む12単位以上	14202011
	発達心理学Ⅱ	2後		2	1		14202012
	高齢者の心理	3後		2	1		14200015
	障害者の心理	3後		2	1		14200016
	臨床心理学Ⅰ	2前		2	1		14203013
	臨床心理学Ⅱ	2後		2	1		14203014
	カウンセリングⅠ	2後		2	1		14200007
	カウンセリングⅡ	2後		2	1		14200008
	医学一般	1前		2	1		14214071
	生活とところとからだ	1後		2	1		14204351
	ところとからだのしくみ	1後		2	1		14200352
	発達と老化の理解	2後		2	1		14200353
	障害の理解	2後		2	1		14200354
	健康論Ⅰ	2前		2	1		14204352
	健康論Ⅱ	2前		2	1		14204353
	生活とリハビリテーション	2後		1	1		14200261
	公衆衛生学	4前		2	1		14200071
	生理学	1前		2	1		14200357
	母子保健	2後		2	1		14200072
	認知症の理解Ⅰ	2前		2	1		14200358
	認知症の理解Ⅱ	3前		2	1		14200359
	医療的ケアⅠ	3後		2	1		14200462
	医療的ケアⅡ	4前		4	2		14200463
	ジェンダー	3後		2	1		14200073
	人間の尊厳と自立	1前		2	1		14200121
	人間関係とコミュニケーション	1後		2	1		14200122
	チームマネジメントⅠ	3後		2	1		14200123
	チームマネジメントⅡ	4前		1	1		14200231
	社会の理解	4前		2	1		14200124
	介護マネジメント	4前		2	1		14200232
	生活支援	2前		2	1		14200240
	生活支援技術Ⅰ	2前		2	2		14204241
	生活支援技術Ⅱ	2後		2	2		14200241
	生活支援技術Ⅲ	3前		1	1		14200242
	家事支援技術	3後		2	2		14200243
	アクティビティ・サービスⅠ	2前		2	1		14200233

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考	ナンバリング
			必修	選択			
	アクティビティ・サービスⅡ	2後		1	1	隔週開講	14200244
	アクティビティ援助特別演習	3通		1	1		14200064
	コミュニケーション技術	2前		1	1		14200234
	手話	4前		1	1		14200066
	点字	4前		1	1		14200067
	介護過程	2後		2	1		14200245
	介護過程演習Ⅰ	2後		1	1		14200246
	介護過程演習Ⅱ	3前		1	1		14200247
	介護過程演習Ⅲ	3後		2	2		14200248
	介護総合演習Ⅰ	2通		1	1		14200280
	介護総合演習Ⅱ	2後～3前		1	1		14200281
	介護総合演習Ⅲ	3通		1	1		14200282
	介護総合演習Ⅳ	4通		1	1	隔週開講	14200283
	介護実習Ⅰ	2前		2	集中	学外実習、評価は2年後期	14204284
	介護実習Ⅱ	2後		3	集中	学外実習、評価は3年前期	14200284
	介護実習Ⅲ	3前		4	集中	学外実習、評価は3年後期	14200285
	介護実習Ⅳ	4前		1	集中	学外実習、評価は4年後期	14200286
	社会保障法Ⅰ	4後		2	1		14203074
	社会保障法Ⅱ	4後		2	1		14203075
	国際福祉政策	4前		2	1		14203076
	海外文化・福祉事情	1後～2前		2	1	実習含む	14200074
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	3前		1	1	評価は4年前期	14210085
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3後		1	1	評価は4年前期	14210086
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	4通		1	1	評価は4年後期、隔週	14210087
	ソーシャルワーク実習Ⅰ	3前		1	集中	学外実習、評価は4年前期	14214088
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	3後		3	集中	学外実習、評価は4年前期	14214089
	ソーシャルワーク実習Ⅲ	4前		1	集中	学外実習、評価は4年後期	14214090
	基礎ゼミⅠ	3前	1		1		14100091
	基礎ゼミⅡ	3後	1		1		14100092
	卒業研究ゼミⅠ	4前	1		1		14100093
	卒業研究ゼミⅡ	4後	1		1		14100094
	福祉総合学習	4前		2	集中		14200097
	福祉総合演習	4後		1	1		14200098
	卒業論文	4通	4		集中		14100095
留学生科目	日本語Ⅰ	1前		2	2		15200041
	日本語Ⅱ	1後		2	2		15200042
	日本語Ⅲ	2前		2	2		15200043
	言葉と文化(日本語)Ⅰ	2後		1	1		15200044
	言葉と文化(日本語)Ⅱ	3前		1	1		15200045
卒業要件		基礎・主題科目	30単位以上				
		専門基本科目	26単位以上				
		専門展開科目	40単位以上				
合 計		124単位以上					
		(全ての分野から自由に選択できる28単位を含む)					

注1) 留学生は、留学生科目の単位を、基礎科目の外国語系科目の単位に代えることができる。
 注2) ボランティア活動Ⅰ、介護実習Ⅰ、ソーシャルワーク実習Ⅰ、教育実習Ⅰの科目から1単位以上を取得すること。

教職科目

	科目名	配当年次	単位数	週授業回数	備考	ナンバリング
			自由			
教職科目	教職入門	2 前	2	1		16302001
	教育概論 I	2 前	2	1		16302002
	教育概論 II	2 後	2	1		16302003
	教育心理学	4 後	2	1		16302011
	教育制度論	2 後	2	1		16302021
	福祉科教育法 I	3 前	2	1		16304001
	福祉科教育法 II	3 後	2	1		16304002
	特別支援教育概論	4 前	2	1		16302031
	総合的な学習の時間の指導法	3 前	2	1		16302042
	特別活動の指導法	4 前	2	1		16302043
	教育方法論	2 後	2	1		16302044
	教育と ICT 活用	2 後	1	1	8 回授業	16302045
	生徒・進路指導論	3 後	2	1		16302046
	教育相談の基礎	4 前	2	1		16302047
	教職実践演習 (中・高)	4 後	2	1		16302086
	教育実習指導	3 後～4 後	1	1		16302081
	教育実習 I	4 通	2	集中	学外実習	16302082

注) 教職科目は、卒業単位に含まれない。

2. 子ども教育保育学科教育課程表

子ども教育保育学科は、厚生労働省より定員60人の指定保育士養成施設として指定されています。
なお、配当年次については、変更する可能性があります。

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考		ナンバリング
			必修	選択				
基礎科目	スポーツ	1前	1		1			21101101
	スポーツ理論	1後	2		1			21101102
	レクリエーション活動Ⅰ	3前		1	1			21200011
	レクリエーション活動Ⅱ	3後		1	1			21200012
	英語Ⅰ	1前	1		1			21101121
	英語Ⅱ	1後	1		1			21101122
	英語Ⅲ	2前	1		1			21100023
	英語Ⅳ	2後		1	1			21200024
	言葉と文化(英語)Ⅰ	2前		1	1	外国語系	英語または中国語を選択し 2単位以上	21200025
	言葉と文化(英語)Ⅱ	2後		1	1			21200026
	言葉と文化(中国語)Ⅰ	2前		1	1			21200031
	言葉と文化(中国語)Ⅱ	2後		1	1			21200032
	言葉と文化(英語)Ⅲ	3前		1	1			21200027
	言葉と文化(英語)Ⅳ	3後		1	1			21200028
	言葉と文化(中国語)Ⅲ	3前		1	1			21200033
	言葉と文化(中国語)Ⅳ	3後		1	1			21200034
	学習方法演習Ⅰ	1前	1		1			21100091
	学習方法演習Ⅱ	1後	1		1			21100092
	基礎演習Ⅰ	2前	1		1			21100093
	基礎演習Ⅱ	2後	1		1			21100094
	情報処理演習Ⅰ	1後		1	1	情報系	1単位以上	21201161
	情報処理演習Ⅱ	2前		1	1			21200162
主題科目	ボランティア入門	1前	2		1			22100001
	ボランティア活動Ⅰ	1通		1	集中			22200002
	ボランティア活動Ⅱ	2通		1	集中			22200003
	健康科学	3前		2	1			22200011
	生命科学	3後		2	1			22200012
	自然科学	3前		2	1			22200013
	日本文学	3後		2	1			22201031
	自然地理	4前		2	1			22201055
	地誌	4後		2	1			22201057
	白山市の自然と文化	3後		2	1			22200014
	日本史Ⅰ	3前		2	1			22201051
	日本史Ⅱ	3前		2	1			22201052
	日本語表現	1後		2	1			22200032
	哲学	3後		2	1			22200041
	宗教学	3前		2	1			22200042
	東洋史	4後		2	1			22200053
	西洋史	4前		2	1		主題科目群から8単位以上	22200054
	人文地理	3前		2	1			22200056
	器楽Ⅰ	1後	1		1			22107021
	器楽Ⅱ	2前	1		1			22107022
	器楽Ⅲ	2後	1		1			22107023
	器楽Ⅳ	3前		1	1			22207024

	科目名	配当年次	単位数		週授業 回数	備考	ナンバ リング
			必修	選択			
主 題 科 目	幼児体育	1後		1	1	8回授業	22200004
	子どもと文化	3後		1	1		22201033
	法学(憲法)Ⅰ	3前		2	1		22200143
	法学Ⅱ	3後		2	1		22200044
	政治学	4後		2	1		22200045
	経済学Ⅰ	3後		2	1		22201046
	経済学Ⅱ	4前		2	1		22201047
	データサイエンス	2後		1	1		22200060
	統計学	4前		2	1		22200015
	教養ゼミⅠ	1前		1	1		22200091
	教養ゼミⅡ	1後		1	1		22200092
	教養ゼミⅢ	2前		1	1		22200093
専 門 基 本 科 目	社会福祉概論Ⅰ	1前	2		1		23112001
	社会福祉概論Ⅱ	1後	2		1		23110002
	高齢者福祉論	3前	2		1		23110011
	障害者福祉論	2後	2		1		23113012
	児童・家庭福祉論	1後	2		1		23112013
	介護福祉論Ⅰ	3前	2		1		23100021
	社会福祉史	4後		2	1	A 群	23200061
	介護福祉論Ⅱ	3後		2	1		23200022
	心理学Ⅰ	1前		2	1		23211051
	心理学Ⅱ	1後		2	1		23211052
	社会学	1前		2	1		23211053
	社会保障論Ⅰ	3前		2	1		23210031
	社会保障論Ⅱ	3後		2	1		23210032
	公的扶助論	3前		2	1	B 群	23210014
	地域福祉論Ⅰ	3前		2	1		23210041
	地域福祉論Ⅱ	3後		2	1		23210042
	社会福祉施設経営論	2後		2	1		23210054
	社会調査	3前		2	1		23210055
	医療福祉論	3後		2	1		23210034
	権利擁護と成年後見	4前		2	1		23210036
	刑事司法と福祉	4前		2	1		23210037
専 門 展 開 科 目	ソーシャルワーク論Ⅰ	1前		2	1	ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 系	24210001
	ソーシャルワーク論Ⅱ	1後		2	1		24210002
	ソーシャルワーク論Ⅲ	2前		2	1		24210003
	ソーシャルワーク論Ⅳ	2後		2	1		24210004
	ソーシャルワーク論Ⅴ	3前		2	1		24210005
	ソーシャルワーク論Ⅵ	3後		2	1		24210006
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2後		1	1		24210080
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	3前		1	1		24210081
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	3後		1	1		24210082
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	4前		1	1		24210083
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	4後		1	1		24210084
	子育て支援	3前		1	1		24206051
	子ども家庭支援論	2後		2	1		24202021
	保育者論	2前		2	1		24202022
	幼児教育者論	1前	2		1		24103315
	幼児教育原理	1前	2		1		24102314

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考		ナンバリング
			必修	選択				
専門展開科目	教育課程総論	1 前	1		1			24106316
	教育課程論	1 前	2		1			24106317
	保育方法論	3 前	2		1			24107031
	保育原理Ⅰ	1 前	2		1			24102023
	保育原理Ⅱ	1 後		2	1			24203031
	社会的養護Ⅰ	1 前	2		1			24102024
	社会的養護Ⅱ	1 後		1	1			24206052
	発達心理学Ⅰ	2 前		2	1			24204412
	発達心理学Ⅱ	2 後		2	1			24205413
	子どもの理解と援助	3 前		1	1			24204041
	幼児教育心理学	2 前		2	1			24200411
	臨床心理学Ⅰ	3 前		2	1			24200061
	臨床心理学Ⅱ	3 後		2	1			24200062
	カウンセリングⅠ	3 後		2	1			24200063
	カウンセリングⅡ	3 後		2	1			24200064
	幼児理解と教育相談	3 前	2		1			24100311
	子ども家庭支援の心理学	3 後		2	1			24204042
	医学一般	2 前		2	1			24210076
	公衆衛生学	4 前		2	1			24200066
	生理学	4 前		2	1			24200067
	母子保健	2 後		2	1			24200068
	子どもの保健	1 後		2	1			24204043
	子どもの健康と安全	2 前		1	1			24206053
	障害児保育	2 前		2	1			24203421
	障害児保育演習Ⅰ	2 後		1	1			24206054
	障害児保育演習Ⅱ	3 前		1	1			24206055
	特別支援教育概論	4 前		2	1			24200312
	手話	4 前		1	1			24200071
	点字	4 前		1	1			24200072
	幼児と健康	1 後	2		1			24107210
	幼児と人間関係	1 前	2		1			24107220
	幼児と環境	1 後	2		1			24107230
	幼児と言葉	1 前	2		1			24107240
	幼児と音楽表現	1 後	2		1			24107250
	幼児と造形表現	1 後	2		1			24107260
	保育内容（健康）指導法Ⅰ	2 前	1		1			24106211
	保育内容（健康）指導法Ⅱ	2 後	1		1			24106212
	保育内容（人間関係）指導法Ⅰ	2 前	1		1			24106221
	保育内容（人間関係）指導法Ⅱ	2 後	1		1			24106222
	保育内容（環境）指導法	2 前	1		1			24106231
	保育内容（言葉）指導法Ⅰ	1 後	1		1			24106241
	保育内容（言葉）指導法Ⅱ	2 前	1		1			24106242
	保育内容（音楽表現）指導法Ⅰ	2 前	1		1			24106251
	保育内容（音楽表現）指導法Ⅱ	2 後	1		1			24106252
	保育内容（造形表現）指導法Ⅰ	2 前	1		1			24106261
	保育内容（造形表現）指導法Ⅱ	2 後	1		1			24106262
	子どもの食と栄養Ⅰ	3 前		1	1			24204044
	子どもの食と栄養Ⅱ	3 後		1	1			24204045
	乳児保育Ⅰ	1 前		2	1			24206056

	科目名	配当年次	単位数		週授業 回数	備考	ナンバ リング
			必修	選択			
専門展開科目	乳児保育Ⅱ	1後		1	1		24206057
	保育実習指導Ⅰ－A	2前		1	1		24208082
	保育実習指導Ⅰ－B	2通		1	1		24208083
	保育実習Ⅰ－A	2前		2	集中	学外実習	24208084
	保育実習Ⅰ－B	2通		2	集中	学外実習	24208085
	保育実習指導Ⅱ	2後		1	集中		24208086
	保育実習Ⅱ	2後		2	集中	学外実習	24208087
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	3前		1	1	評価は4年前期	24210085
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3後		1	1	評価は4年前期	24210086
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	4前		1	1	評価は4年後期	24210087
	ソーシャルワーク実習Ⅰ	3前		1	集中	学外実習、評価は4年前期	24210088
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	3後		3	集中	学外実習、評価は4年前期	24210089
	ソーシャルワーク実習Ⅲ	4前		1	集中	学外実習、評価は4年後期	24210090
	幼児教育実習指導	3前～4前		1	1		24200380
	幼児教育実習Ⅰ	3後		2	集中	学外実習	24200381
	幼児教育実習Ⅱ	4前		2	集中	学外実習	24200382
	早期現場体験指導	1後		1	1		24200080
	早期現場体験	1後		1	集中	学外実習	24200081
	教育制度論	2後		2	1		24200313
	保育・教職実践演習(幼稚園)	4後		2	1		24209380
	ジェンダー	3後		2	1		24200073
	海外文化・福祉事情	1後～2前		2	1	実習含む	24200074
	国際福祉政策	4前		2	1		24200075
	基礎ゼミⅠ	3前	1		1		24100091
	基礎ゼミⅡ	3後	1		1		24100092
	卒業研究ゼミⅠ	4前	1		1		24100093
	卒業研究ゼミⅡ	4後	1		1		24100094
	福祉総合学習	4前		2	集中		24200097
	福祉総合演習	4後		1	1		24200098
	卒業論文	4通	4		集中		24100095
留学生科目	日本語Ⅰ	1前		2	2		25200041
	日本語Ⅱ	1後		2	2		25200042
	日本語Ⅲ	2前		2	2		25200043
	言葉と文化(日本語)Ⅰ	2後		1	1		25200044
	言葉と文化(日本語)Ⅱ	3前		1	1		25200045
卒業要件							
		基礎・主題科目	30単位以上				
		専門基本科目	26単位以上				
		専門展開科目	50単位以上				
合 計 124単位以上							
(全ての分野から自由に選択できる18単位を含む)							

注1) 留学生は、留学生科目の単位を、基礎科目の外国語系科目の単位に代えることができる。
 注2) ボランティア活動Ⅰ、保育実習Ⅰ－A、保育実習Ⅰ－B、ソーシャルワーク実習Ⅰ、幼児教育実習Ⅰ、早期現場体験の科目から1単位以上を取得すること。

3. 理学療法学科教育課程表

理学療法学科は、文部科学省より定員 60 人の理学療法士学校として指定されています。そのため、指定科目を履修して卒業すれば、理学療法士国家試験受験資格が得られます。

なお、配当年次については、変更する可能性があります。

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考	ナンバリング
			必修	選択			
基礎科目	スポーツ	1後	1		1		41110108
	スポーツ理論	2後		2	1		41210128
	レクリエーション活動Ⅰ	1前		1	1		41210113
	レクリエーション活動Ⅱ	1後		1	1		41210119
	英語Ⅰ	1前	1		1		41110101
	英語Ⅱ	1前	1		1		41110102
	英語Ⅲ	1後	1		1		41110109
	英語Ⅳ	1後	1		1		41110110
	言葉と文化(英語)Ⅰ	2前		1	1		41210129
	言葉と文化(英語)Ⅱ	2後		1	1		41210134
	言葉と文化(中国語)Ⅰ	2前		1	1		41210130
	言葉と文化(中国語)Ⅱ	2後		1	1		41210135
	医学英語	3後		1	1		41210139
	情報処理演習	1前	1		1		41110103
	基礎演習Ⅰ	1前	1		1		41110104
	基礎演習Ⅱ	1後	1		1		41110111
主題科目	ボランティア入門	1前	2		1		42110105
	ボランティア活動Ⅰ	1通		1	集中		42210114
	ボランティア活動Ⅱ	2通		1	集中		42210131
	健康科学	1前	1		1		42110106
	生命と医療の倫理	1後	1		1		42110112
	データサイエンス	1後		1	1	8回授業	42210148
	統計学	3後		1	1		42210143
	自然科学Ⅰ(生物系)	1前		2	1		42210115
	自然科学Ⅱ(物理系)	1後		2	1		42210121
	自然科学Ⅲ(数学系)	1前		2	1		42210116
	自然科学Ⅳ(化学系)	1後		2	1		42210122
	自然科学概論	1前		2	1		42210117
	心理学Ⅰ	1前	2		1		42110107
	心理学Ⅱ	1後		2	1		42210123
	人文地理	3前		2	1		42210140
	社会学	2後		2	1		42210136
	ソーシャルワーク論Ⅰ	3前		2	1		42210141
	ソーシャルワーク論Ⅱ	4後		2	1		42210146
	介護福祉論Ⅰ	3前		2	1		42210142
	介護福祉論Ⅱ	4後		2	1		42210147
	高齢者福祉論	1前		2	1		42210118
	障害者福祉論	1後		2	1		42210124
	法学(憲法)Ⅰ	2前		2	1		42210132
	法学Ⅱ	2後		2	1		42210137
	医療関係法	3後		2	1		42210144
	美術	1後		2	1		42210125

	科目名	配当年次	単位数		週授業 回数	備考	ナンバ リング
			必修	選択			
主 題 科 目	日本文学Ⅰ	2前		2	1		42210133
	日本文学Ⅱ	2後		2	1		42210138
	日本史Ⅰ	1前		2	1		42210126
	日本史Ⅱ	1前		2	1		42210127
	東洋史	3後		2	1		42210145
専 門 基 本 科 目	解剖学Ⅰ	1前	2		1	後期は集中講義	43110201
	解剖学Ⅱ	1通	1		1		43110202
	解剖学Ⅲ	1後	1		1		43110206
	解剖学Ⅳ	2前		1	1		43210212
	解剖学実習	1前	1		2		43110203
	生理学Ⅰ	1前	1		1		43110204
	生理学Ⅱ	1後	1		1		43110207
	生理学実習	1後	1		2		43110205
	運動学Ⅰ	2前	1		1		43110208
	運動学Ⅱ	2後	1		1		43110210
	運動学実習	2後	1		2		43110211
	人間発達学	2前	1		1	8回授業 8回授業	43110209
	医学概論	1後	1		1		43110302
	病理学	2後	1		1		43110312
	臨床心理学Ⅰ	2前	1		1		43110305
	臨床心理学Ⅱ	2後		1	1		43210317
	カウンセリング演習	3後		1	1		43210318
	高齢者の心理	4後		2	1		43210319
	障害者の心理	4後		2	1		43210320
	精神医学	2前	1		1		43110306
	内科学Ⅰ	2前	1		1		43110307
	内科学Ⅱ	2後	1		1		43110313
	整形外科Ⅰ	2前	1		1		43110308
	整形外科Ⅱ	2後	1		1		43110314
	神経内科学Ⅰ	2前	1		1		43110309
	神経内科学Ⅱ	2後	1		1		43110315
	小児科学	2前	1		1		43110310
	老年学	2前	1		1		43110311
	安全管理	1後	1		1		43110303
	感染防御	1後	1		1		43110304
	公衆衛生学	1前	2		1		43110301
	栄養・薬理学	3後	1		1		43110316
	リハビリテーション医学	1後	1		1		43110402
	リハビリテーション概論	1前	1		1		43110401
	地域リハビリテーション学	3前	2		1		43110403
	社会福祉概論Ⅰ	1前		2	1		43210404
	社会福祉概論Ⅱ	1後		2	1		43210405
	ケアマネジメント	4後		2	1		43210406
専 門 展 開 科 目	理学療法学概論	1前	2		1	8回授業	44111101
	基礎理学療法治療学	2前	2		1		44111102
	理学療法研究法	3前	1		1		44111103
	病態運動学	3前	2		1		44111104
	理学療法管理学	3後	2		1		44111501
	理学療法評価概論	1後	1		1		44111201

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考	ナンバリング
			必修	選択			
専門展開科目	検査・測定論Ⅰ	2前	1		1	8回授業	44111202
	検査・測定論Ⅱ	2後	1		1		44111204
	検査・測定実習Ⅰ	2前	1		2		44111203
	検査・測定実習Ⅱ	2後	1		2		44111205
	理学療法画像評価学	3前	1		1		44111206
	運動療法学Ⅰ	2前	2		1		44111301
	運動療法学Ⅱ	2後	2		1		44111304
	運動療法学実習	3前	1		2		44111307
	物理療法学	2前	2		1		44111302
	物理療法実習	2後	1		2		44111305
	義肢装具学	3前	2		1		44111308
	義肢装具実習	3後	1		2		44111315
	日常生活活動学	2前	2		1	44111303	
	日常生活活動実習	2後	1		2	44111306	
	理学療法治療学Ⅰ（運動器）	3前	1		1	44111309	
	理学療法治療学Ⅱ（中枢1）	3前	1		1	44111310	
	理学療法治療学Ⅲ（中枢2）	3前	1		1	44111311	
	理学療法治療学Ⅳ（内部疾患）	3前	1		1	44111312	
	理学療法治療学Ⅴ（小児）	3前	1		1	44111313	
	スポーツリハビリテーション	2後		1	1	44211317	
	リハビリテーション・マネジメント演習	3通		1	集中	44211318	
	理学療法治療学実習Ⅰ	3前	1		2	44111314	
	理学療法治療学実習Ⅱ	3後	1		2	44111316	
	地域理学療法学	3前	2		1	44111401	
	生活環境学	3後	2		1	44111402	
	地域福祉論	3前		2	1	44211403	
	総合臨床実習Ⅰ（通所・訪問）	2通	1		集中	学外実習（事前事後指導含む）	44112101
	総合臨床実習Ⅱ（評価）	3後	5		集中	学外実習（事前事後指導含む）	44112102
	総合臨床実習Ⅲ	4通	16		集中	学外実習（事前事後指導含む）	44112103
	地域支援実習	1通		1	集中	学外実習（事前事後指導含む）	44213108
	見学実習	1通	1		1+集中		44113101
	客観的臨床能力評価	2通	1		1+集中		44113102
	基礎ゼミⅠ	3前	1		1		44113103
	基礎ゼミⅡ	3前		1	1		44213109
	卒業研究ゼミⅠ	3後	1		1		44113104
	卒業研究ゼミⅡ	4後	1		1		44113106
	卒業論文	3後～4通	3		集中		44113105
	総合学習	4後	1		集中		44113107
卒業要件		基礎・主題科目	20単位以上				
		専門基本科目	34単位以上				
		専門展開科目	71単位以上				
合 計		127単位以上					
		（全ての分野から自由に選択できる2単位を含む）					

4. 作業療法学科教育課程表

作業療法学科は、文部科学省より定員 30 人の作業療法士学校として指定されています。そのため、指定科目を履修して卒業すれば、作業療法士国家試験受験資格が得られます。

なお、配当年次については、変更する可能性があります。

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考	ナンバリング
			必修	選択			
基礎科目	スポーツ	1後	1		1		51110108
	スポーツ理論	2後		2	1		51210128
	レクリエーション活動Ⅰ	1前		1	1		51210113
	レクリエーション活動Ⅱ	1後		1	1		51210119
	英語Ⅰ	1前	1		1		51110101
	英語Ⅱ	1前	1		1		51110102
	英語Ⅲ	1後	1		1		51110109
	英語Ⅳ	1後	1		1		51110110
	言葉と文化(英語)Ⅰ	2前		1	1		51210129
	言葉と文化(英語)Ⅱ	2後		1	1		51210134
	言葉と文化(中国語)Ⅰ	2前		1	1		51210130
	言葉と文化(中国語)Ⅱ	2後		1	1		51210135
	医学英語	3後		1	1		51210139
	情報処理演習	1前	1		1		51110103
	基礎演習Ⅰ	1前	1		1		51110104
	基礎演習Ⅱ	1後	1		1		51110111
主題科目	ボランティア入門	1前	2		1		52110105
	ボランティア活動Ⅰ	1通		1	集中		52210114
	ボランティア活動Ⅱ	2通		1	集中		52210131
	健康科学	1前	1		1		52110106
	生命と医療の倫理	1後	1		1		52110112
	データサイエンス	1後		1	1	8回授業	52210148
	統計学	3後		1	1		52210143
	自然科学Ⅰ(生物系)	1前		2	1		52210115
	自然科学Ⅱ(物理系)	1後		2	1		52210121
	自然科学Ⅲ(数学系)	1前		2	1		52210116
	自然科学Ⅳ(化学系)	1後		2	1		52210122
	自然科学概論	1前		2	1		52210117
	心理学Ⅰ	1前	2		1		52110107
	心理学Ⅱ	1後		2	1		52210123
	人文地理	3前		2	1		52210140
	社会学	2後		2	1		52210136
	ソーシャルワーク論Ⅰ	3前		2	1		52210141
	ソーシャルワーク論Ⅱ	4後		2	1		52210146
	介護福祉論Ⅰ	3前		2	1		52210142
	介護福祉論Ⅱ	4後		2	1		52210147
	高齢者福祉論	1前		2	1		52210118
	障害者福祉論	1後		2	1		52210124
	法学(憲法)Ⅰ	2前		2	1		52210132
	法学Ⅱ	2後		2	1		52210137
	医療関係法	3後		2	1		52210144
	美術	1後		2	1		52210125

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考	ナンバリング
			必修	選択			
主 題 科 目	日本文学Ⅰ	2前		2	1		52210133
	日本文学Ⅱ	2後		2	1		52210138
	日本史Ⅰ	1前		2	1		52210126
	日本史Ⅱ	1前		2	1		52210127
	東洋史	3後		2	1		52210145
専 門 基 本 科 目	解剖学Ⅰ	1前	2		1	後期は集中講義	53110201
	解剖学Ⅱ	1通	1		1		53110202
	解剖学Ⅲ	1後	1		1		53110206
	解剖学Ⅳ	2前		1	1		53210212
	解剖学実習	1前	1		2		53110203
	生理学Ⅰ	1前	1		1		53110204
	生理学Ⅱ	1後	1		1		53110207
	生理学実習	1後	1		2		53110205
	運動学Ⅰ	2前	1		1		53110208
	運動学Ⅱ	2後	1		1		53110210
	運動学実習	2後	1		2		53110211
	人間発達学	2前	1		1		53110209
	医学概論	1後	1		1		53110301
	病理学	2後	1		1		53110311
	臨床心理学Ⅰ	2前	1		1		53110304
	臨床心理学Ⅱ	2後		1	1		53210317
	カウンセリング演習	3後		1	1		53210318
	高齢者の心理	4後		2	1		53210319
	障害者の心理	4後		2	1		53210320
	精神医学	2前	1		1		53110305
	内科学Ⅰ	2前	1		1		53110306
	内科学Ⅱ	2後	1		1		53110312
	整形外科Ⅰ	2前	1		1		53110307
	整形外科Ⅱ	2後	1		1		53110313
	神経内科学Ⅰ	2前	1		1		53110308
	神経内科学Ⅱ	2後	1		1		53110314
	小児科学	2前	1		1		53110309
	老年学	2前	1		1		53110310
	安全管理	1後	1		1	8回授業	53110302
	感染防御	1後	1		1	8回授業	53110303
	公衆衛生学	1前		2	1		53210316
	栄養・薬理学	3後	1		1		53110315
	リハビリテーション医学	1後	1		1		53110402
	リハビリテーション概論	1前	1		1		53110401
	地域リハビリテーション学	3前	2		1		53110403
	社会福祉概論Ⅰ	1前		2	1		53210404
	社会福祉概論Ⅱ	1後		2	1		53210405
	ケアマネージメント	4後		2	1		53210406
専 門 展 開 科 目	作業療法学概論	1前	2		1		54111101
	基礎作業療法学	2後	1		1		54111102
	作業療法研究法	3前	1		1		54111103
	作業科学と運動・動作分析	3前	1		1		54111104
	作業療法管理学	3後	2		1		54111501
	作業療法評価概論	1後	1		1		54111201

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考	ナンバリング
			必修	選択			
専門展開科目	検査・測定論Ⅰ	2前	1		1		54111202
	検査・測定論Ⅱ	2後	1		1		54111204
	検査・測定実習Ⅰ	2前	1		2		54111203
	検査・測定実習Ⅱ	2後	1		2		54111205
	作業療法治療学Ⅰ(身体)	2前	2		1		54111301
	作業療法治療学Ⅱ(整形系)	2前	2		1		54111302
	作業療法治療学Ⅲ(中枢)	2後	2		1		54111304
	作業療法治療学Ⅳ(精神)	2後	2		1		54111305
	作業療法治療学Ⅴ(内部疾患)	3前	2		1		54111308
	作業療法治療学Ⅵ(老年期)	3前	1		1		54111309
	作業療法治療学Ⅶ(高次脳機能)	3前	1		1		54111310
	作業療法治療学Ⅷ(発達)	3前	1		1		54111311
	作業療法治療学実習Ⅰ(身体)	2後	1		2		54111306
	作業療法治療学実習Ⅱ(中枢)	3後	1		2		54111314
	作業療法治療学実習Ⅲ(精神)	3前	1		2		54111312
	義肢装具学	3前	2		1		54111313
	義肢装具実習	3後	1		2		54111315
	日常生活活動学	2前	2		1		54111303
	日常生活活動実習	2後	1		2		54111307
	スポーツリハビリテーション	2後		1	1		54211317
	作業学	3後	1		1		54111316
	地域作業療法学	3前	2		1		54111401
	生活環境学	3前	2		1		54111402
	地域福祉論	3前		2	1		54211403
	総合臨床実習Ⅰ(通所・訪問)	2通	1		集中		54112101
	総合臨床実習Ⅱ(評価)	3後	5		集中	学外実習(事前事後指導含む)	54112102
	総合臨床実習Ⅲ	4通	16		集中	学外実習(事前事後指導含む)	54112103
	地域支援実習	1通		1	集中		54213111
	見学実習	1通	1		1+集中	学外実習(事前事後指導含む)	54113101
	基礎実習Ⅰ	2通	1		1		54113102
	基礎実習Ⅱ	3通	1		1		54113105
	基礎実習Ⅲ(学外)	2通	1		集中	学外実習	54113103
	客観的臨床能力評価	2～4通	1		集中		54113104
	基礎ゼミⅠ	3前	1		1		54113106
	基礎ゼミⅡ	3前		1	1		54213112
	卒業研究ゼミⅠ	3後	1		1		54113107
	卒業研究ゼミⅡ	4後	1		1		54113109
	卒業論文	3後～4通	3		集中		54113108
	総合学習	4後	1		集中		54113110
卒業要件		基礎・主題科目	20単位以上				
		専門基本科目	32単位以上				
		専門展開科目	73単位以上				
合 計			127単位以上				
(全ての分野から自由に選択できる2単位を含む)							

5. 看護学科教育課程表

看護学科は、文部科学省より定員 80 人の看護師学校として指定されています。そのため、指定科目を履修して卒業すれば、看護師国家試験受験資格が得られます。

なお、配当年次については、変更する可能性があります。

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考	ナンバリング
			必修	選択			
基礎科目	スポーツ	1 前	1		1		71110101
	スポーツ理論	2 前		2	1		71210102
	レクリエーション活動Ⅰ	1 前		1	1		71210111
	レクリエーション活動Ⅱ	1 後		1	1		71210112
	英語Ⅰ	1 前	1		1		71110121
	英語Ⅱ	1 前	1		1		71110122
	英語Ⅲ	1 後	1		1		71110123
	英語Ⅳ	1 後	1		1		71110124
	言葉と文化(英語)Ⅰ	2 前		1	1		71210125
	言葉と文化(英語)Ⅱ	2 後		1	1		71210126
	言葉と文化(中国語)Ⅰ	2 前		1	1		71210131
	言葉と文化(中国語)Ⅱ	2 後		1	1		71210132
	医療英語	1 後	1		1		71110126
	情報処理演習	1 前	1		1		71110141
	基礎演習Ⅰ(スタディスキル)	1 前	1		1		71110151
	基礎演習Ⅱ(プロフェッショナルスキル)	1 後	1		1		71110152
主題科目	ボランティア入門	1 前	2		1		72110101
	ボランティア活動Ⅰ	1 通		1	集中		72210102
	ボランティア活動Ⅱ	2 通		1	集中		72210103
	データサイエンス	1 後		1	1	8 回授業	72210119
	統計学	2 後		1	1		72210111
	自然科学Ⅰ(生物系)	1 前		2	1		72210121
	自然科学Ⅱ(物理系)	1 後		2	1		72210122
	自然科学Ⅲ(数学系)	1 前		2	1		72210123
	自然科学Ⅳ(化学系)	1 後		2	1		72210124
	自然科学概論	1 前		2	1		72210125
	心理学Ⅰ	1 前	2		1		73110341
	心理学Ⅱ	1 後		2	1		73210342
	白山市の自然と文化	1 後		2	1		72210113
	社会学	2 後		2	1		72210131
	ソーシャルワーク論Ⅰ	3 前		2	1		72210132
	ソーシャルワーク論Ⅱ	4 後		2	1		72210133
	介護福祉論Ⅰ	3 前		2	1		72210134
	介護福祉論Ⅱ	4 後		2	1		72210135
	高齢者福祉論	1 前		2	1		72210136
	障害者福祉論	1 後		2	1		72210137
	法学(憲法)Ⅰ	2 前		2	1		72210141
	法学Ⅱ	2 後		2	1		72210142
	医療関係法	4 後		2	1		72210143
	美術	1 後		2	1		72210114
	日本文学Ⅰ	2 前		2	1		72210115
	日本文学Ⅱ	2 後		2	1		72210116

	科目名	配当年次	単位数		週授業 回数	備考	ナンバ リング
			必修	選択			
科目主題	日本史Ⅰ	1前		2	1		72210117
	日本史Ⅱ	1前		2	1		72210118
専門基本科目	解剖生理学Ⅰ(総論、運動器、体液・血液)	1前	2		1		73110201
	解剖生理学Ⅱ(血液循環、呼吸、消化吸収、内分泌)	1後	2		1		73110202
	解剖生理学Ⅲ(泌尿生殖器、神経系)	2前	2		1		73110203
	栄養代謝学	1前	1		1	8回授業	73110211
	微生物学	1後	1		1	8回授業	73110212
	医学概論	1前	1		1	8回授業	73110301
	病理病態学	1後	2		1	15回授業	73110302
	診断治療学Ⅰ(内科系)	2前	2		1		73110311
	診断治療学Ⅱ(外科系)	2前	1		1	8回授業	73110312
	診断治療学Ⅲ(周産期)	2後	1		1	8回授業	73110313
	診断治療学Ⅳ(小児)	2後	1		1	11回授業	73110314
	診断治療学Ⅴ(精神)	2後	1		1	8回授業	73110315
	臨床栄養学	1後	1		1	8回授業	73110321
	臨床薬理学	2前	2		1		73110322
	リハビリテーション概論	1前		1	1	8回授業	73210331
	臨床心理学Ⅰ	2前	1		1	8回授業	73110343
	臨床心理学Ⅱ	2後		1	1	8回授業	73210344
	カウンセリング演習	2後	1		1		73110345
	高齢者の心理	4後		2	1		73210346
	障害者の心理	4後		2	1		73210347
	安全管理	2前	1		1	8回授業	73110323
	感染防御	2前	1		1	8回授業	73110324
	保健医療概論	1前	1		1	8回授業	73110401
	保健医療制度論	1後	1		1	8回授業	73110402
	社会保障制度論	1後		1	1	8回授業	73210403
	石川県・白山市の保健医療事情	1後		1	1	8回授業	73210404
	看護マネジメント論	2後	1		1	8回授業	73110411
	公衆衛生学	1前	2		1		73110421
	疫学・保健統計入門	2後	1		1	8回授業	73110422
	社会福祉概論Ⅰ	1前		2	1		73210431
	社会福祉概論Ⅱ	1後		2	1		73210432
専門展開科目	看護概論	1前	2		1		74111101
	看護理論	1後	1		1	8回授業	74111102
	看護倫理	1後	1		1	8回授業	74111103
	看護情報論	3前		1	1	8回授業	74211104
	基礎看護学方法論Ⅰ(生活の援助技術)	1後	1		1	8回授業	74111111
	基礎看護学方法論Ⅱ(診療の援助技術)	2前	2		1		74111112
	基礎看護学方法論演習Ⅰ(生活の援助技術)	1後	2		2		74111121
	基礎看護学方法論演習Ⅱ(診療の援助技術)	2前	1		1		74111122
	基礎看護過程論	2前	1		1		74111123
	基礎看護学実習Ⅰ(早期体験実習)	1通	1		集中	学外実習	74111131
	基礎看護学実習Ⅱ(療養生活援助実習)	2通	2		集中	学外実習	74111132
	地域・在宅看護学概論Ⅰ(健康・生活支援)	1後	1		1	8回授業	74111201
	地域・在宅看護学概論Ⅱ(療養・生活支援)	2後	1		1	8回授業	74111211
	地域・在宅看護学演習	2後	1		1		74111212
	地域・在宅看護学実践論	3前	2		1		74111221
	地域・在宅看護技術演習	3前	1		1		74111231

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考	ナンバリング
			必修	選択			
専門展開科目	地域・在宅看護学実習	4前	2		集中	学外実習	74111241
	成人看護学概論	1後	1		1	8回授業	74111301
	成人看護論Ⅰ(慢性期・終末期)	2前	2		1		74111311
	成人看護論Ⅱ(急性期・回復期)	2後	2		1		74111312
	成人看護過程展開論	2後	1		1	8回授業	74111313
	成人看護学演習Ⅰ(慢性期・終末期)	3前	1		2		74111321
	成人看護学演習Ⅱ(急性期・回復期)	3前	1		2		74111322
	成人看護学実習Ⅰ(慢性期・終末期実習)	3後	2		集中	学外実習	74111331
	成人看護学実習Ⅱ(急性期・回復期実習)	3後	3		集中	学外実習	74111332
	老年看護学概論	2後	1		1	8回授業	74111401
	認知症ケア	2後	1		1	8回授業	74111402
	老年看護論	3前	1		1	8回授業	74111411
	老年看護学演習	3前	1		2		74111421
	老年看護学実習Ⅰ(施設実習)	3後	2		集中	学外実習	74111431
	老年看護学実習Ⅱ(病院実習)	3後	3		集中	学外実習	74111432
	小児看護学概論	2後	1		1	8回授業	74111501
	小児看護学実践論	3前	2		1		74111511
	小児看護学演習	3後	1		2		74111521
	小児看護学実習	4前	2		集中	学外実習	74111531
	母性看護学概論	2後	1		1	8回授業	74111601
	母性看護学実践論	3前	2		1		74111611
	母性看護学演習	3後	1		2		74111621
	母性看護学実習	4前	2		集中	学外実習	74111631
	精神保健看護学概論	2後	1		1	8回授業	74111701
	精神保健看護学実践論	3前	2		1		74111711
	精神保健看護学実践演習	3後	1		2		74111721
	精神保健看護学実習	4前	2		集中	学外実習	74111731
	エンド・オブ・ライフケア実践論	3前		1	1	8回授業	74212131
	実践看護学実習Ⅰ(地域活動実習)	2後	1		集中	学外実習	74112141
	実践看護学実習Ⅱ(多職種連携実習)	4通	1		集中	学外実習	74112142
	看護教育論	4後		1	1	8回授業	74212122
	チーム医療論	2後	1		1	8回授業	74112111
	チーム医療演習	4前	1		1		74112112
	地域と看護	2後		1	1	8回授業	74212101
	災害看護論	2前	1		1	8回授業	74112102
	国際看護論	2前	1		1	8回授業	74112103
	看護学研究法	2後	2		1		74112121
	総合演習	4後	1		集中		74112154
	卒業研究ゼミⅠ(研究探究ゼミ)	3通	1		1		74112151
	卒業研究ゼミⅡ(研究実践ゼミ)	4通	1		1		74112152
	卒業論文	4通	3		集中		74112153
卒業要件		基礎・主題科目	21単位以上				
		専門基本科目	30単位以上				
		専門展開科目	76単位以上				
合 計			127単位以上				

6. 総合経済学科教育課程表

	科目名	配当年度	単位数			週授業回数	備考	ナンバリング
			必修	選択	自由			
基礎科目	スポーツ	1前	1			1		91140001
	スポーツ理論	1後		2		1		91240002
	英語 I	1前	1			1		91101011
	英語 II	1後	1			1		91101012
	英語 III	2前	1			1		91101013
	英語 IV	2後		1		1		91201014
	言葉と文化 (英語) I	2前		1		1		91201015
	言葉と文化 (英語) II	2後		1		1		91201016
	言葉と文化 (中国語) I	1前		1		1		91201021
	言葉と文化 (中国語) II	1後		1		1		91201022
	言葉と文化 (英語) III	3前		1		1		91201017
	言葉と文化 (英語) IV	3後		1		1		91201018
	言葉と文化 (中国語) III	2前		1		1		91201023
	言葉と文化 (中国語) IV	2後		1		1		91201024
	コンピュータ・リテラシー	1前	1			1		91160001
	学習方法演習 I	1前	1			1		91102001
	学習方法演習 II	1後	1			1		91102002
	基礎演習 I	2前	1			1		91102003
	基礎演習 II	2後	1			1		91102004
主題科目	ボランティア入門	1前	2			1		92103001
	ボランティア活動 I	1通		1		集中		92203002
	ボランティア活動 II	2通		1		集中		92203003
	美術	1後		2		1		92200001
	健康科学	1前		2		1		92240001
	生命科学	3後		2		1		92200002
	自然科学	2後		2		1		92230002
	基礎数学	1前		2		1		92200003
	環境学	2前	2			1		92130001
	人文地理	1後		2		1		92200004
	心理学 I	1前		2		1		92204001
	心理学 II	1後		2		1		92204002
	コミュニケーション演習	2後		1		1		92204003
	白山市の自然と文化	2後		2		1		92230003
	社会福祉概論	1前		2		1		92200005
	介護福祉論	3前		2		1		92200006
	哲学	1後		2		1		92200007
	東洋史	4後		2		1		92200008
	西洋史	4前		2		1		92200009
	政治学	2後		2		1		92200010
	法学 I	2前		2		1		92200011
	法学 II	2後		2		1		92200012
	日本文学	2前		2		1		92200013
	日本文化論	1後		2		1		92200014
専門基礎科目	総合経済学入門	1前	2			1		93110001
	ミクロ経済学 I (完全競争市場)	1後	2			1		93110004

科目名	配当年次	単位数			週授業回数	備考	ナンバリング
		必修	選択	自由			
専門基本科目	ミクロ経済学Ⅱ（不完全競争市場）	2前	2		1	8回授業	93110006
	マクロ経済学Ⅰ（ケインズ経済学と経済政策）	1後	2		1		93110005
	マクロ経済学Ⅱ（開放経済体系と長期モデル）	2前	2		1		93110007
	経済数学	1後	2		1		93210003
	北陸の経済産業史	1後	2		1		93220003
	持続可能な開発とSDGs論	1後	1		1		93110002
	金融論	2前	2		1		93220004
	情報政策論	2後	2		1		93210008
	経営学概論	1前	2		1		93120001
	簿記会計	1前	2		1		93220002
	社会学概論	1前	2		1		93150001
	社会調査法	1後	2		1		93150002
	社会調査演習	2前	1		1		93250003
	メディア論	2前	2		1		93250004
	ジェンダー論	2後	2		1		93250005
	国際社会学	2後	2		1		93250006
	統計学	1前	2		1		93160001
	データサイエンスⅠ（データサイエンスの基礎）	1後	2		1		93160002
	データサイエンスⅡ（経済・経営のためのビッグデータの分析）	2前	2		1		93160004
	IoTとデジタルマーケティング	1後	2		1		93260003
専門展開科目 経済学系科目	ビジネスデザイン演習	2前	1		1	経済学系科目から選択科目 2単位以上	93260005
	ICTと情報セキュリティ	2後	2		1		93260006
	Webプログラミング	2後	1		1		93260007
	デジタルパフォーミング演習	2後	1		1		93260008
	データ表現演習	3前	1		1		93260009
	AI戦略論	3後	2		1		93260010
	ITパスポートⅠ（ストラテジ系）	3前		2	1		93360001
	ITパスポートⅡ（テクノロジ系）	3後		2	1		93360002
	経済統計学	2前	2		1		94210001
	地域経済論	2前	2		1		94110004
	産業組織論	2前	2		1		94210003
	地域共創論	2前	2		1		94210005
	財政学	2前	2		1		94210002
	経済情報論	2後	2		1		94210007
	国際経済論	2後	2		1		94210009
	地方財政学	2後	2		1		94210008
	計量経済学	3前	2		1		94210010
	公共経済論	3前	2		1		94210015
	経済開発論	3前	2		1		94210014
	環境経済論	3前	2		1		94210016
	リーダーシップ論	3前	2		1		94210013
	経済政策論	3前	2		1		94210011
	労働経済論	3前	2		1		94210012
	商法・会社法	2前	2		1		94110006
	民法	3前	2		1		94210018
	行政学	3前	2		1		94210019
	政治社会学	3後	2		1		94210021

	科目名	配当年次	単位数			週授業 回数	備考	ナンバ リング
			必修	選択	自由			
専門展開科目	経済学系科目	社会保障論	3後	2		1	8回授業	94210020
		医療経済学	3前	1		1		94210017
		行政法	3後	2		1		94210022
	経営学系科目	マーケティング論	1後	2		1	経営学系科目から選択科目 2単位以上	94120001
		経営組織論	2前	2		1		94220005
		企業の社会的責任	2前	2		1		94220003
		消費者行動論	2前	2		1		94220006
		企業論	2後	2		1		94220008
		経営戦略論	2後	2		1		94220011
		経営管理論	2後	2		1		94220009
		中小企業経営論	2後	2		1		94220012
		ベンチャービジネス論	3前	2		1		94220013
		マーケティングリサーチ	3前	2		1		94220014
		IoTとロジスティクス	3後	1		1		94220015
		ファイナンシャル・マネジメント	4前	2		1		94220017
		ファイナンシャルプランニング基礎	1後	1		1		94220002
		ファイナンシャルプランニング実務演習	2前	1		1		94220007
		財務会計論	2前	2		1		94220004
		管理会計論	2後	2		1		94220010
		税務会計論	4前	2		1		94220016
	環境系科目	食と農の経済学	2前	2		1	環境系科目から選択科目 2単位以上	94230001
		環境マネジメント	2前	2		1		94230002
		環境政策論	2後			1		94130003
		エコライフ論	3前	2		1		94230006
		都市環境計画	3前	2		1		94230004
		廃棄物・再生資源論	3前	2		1		94230005
		自然再生論	3前	2		1		94230008
		生物多様性保全論	3前	2		1		94230007
		国際環境保全論	3後	2		1		94230010
		環境技術論	3後	1		1	8回授業	94230009
		企業と環境法	3後	1		1	8回授業	94230011
		地産地消とブランディング	3後	2		1		94230013
		生態系観察演習	3後	1		1		94230012
		環境測定演習	4前	1		1		94230015
		地域循環共生圏	4前	2		1		94230014
	健康系科目	健康と栄養	2前	2		1	健康系科目から選択科目 2単位以上	94240001
		スポーツビジネス論	2後	2		1		94240003
		健康デザイン論	2後	2		1		94240002
		健康経営概論	3前	2		1		94140006
		保健医療データマイニング	3前	2		1		94240005
		アンチエイジングとストリートダンス	3前	1		1		94240004
		公共交通政策と健康	3前	2		1		94240007
		スポーツとからだのしくみ	3後	2		1		94240009
		ヘルスプロモーション演習	3後	1		1		94240010
		こどもの健康と地域社会	3後	2		1		94240011
		ユニバーサルデザインと暮らし	3後	2		1		94240012
		eスポーツ論	3後	2		1		94240008
		健康とメンタルコンディショニング	4前	2		1		94240013
		ネイチャーアクティビティ	4前	1		1		94240014

		科目名	配当年次	単位数			週授業回数	備考	ナンバリング
				必修	選択	自由			
専門展開科目	地域活性科目	地域共創実践論	2後		2		1	地域活性科目から選択科目 4単位以上	94270001
		地域共創プロジェクト	3前		1		1		94270002
		地域社会と経済	3後		2		1		94270005
		地域づくり論Ⅰ（地域ブランド）	3後		2		1		94270006
		地域づくり論Ⅱ（コミュニティビジネス）	4前		2		1		94270008
		地域づくり論Ⅲ（情報と地域経営）	4後		2		1		94270010
		地域企業論Ⅰ（ビジネスイノベーション）	3後		2		1		94270007
		地域企業論Ⅱ（事業承継）	4前		2		1		94270009
		グリーンビジネス論	3後		2		1		94270004
		健康づくりと地域発展	3前		2		1		94270003
	連携企業PBL科目	連携企業PBL 演習Ⅰ（課題発見）	2前	1			1		94180001
		連携企業PBL 演習Ⅱ（課題解決へのプロセス）	2後	1			1		94180003
		連携企業PBL 演習Ⅲ（解決策の実践）	3前	1			1		94180005
		インターンシップⅠ	2前	1			集中		94180002
		インターンシップⅡ	2後	1			集中		94180004
		連携企業PBL 実習	3前		3		集中		94280006
	卒業研究科目	基礎ゼミⅠ	3前	1			1		94190001
		基礎ゼミⅡ	3後	1			1		94190002
		卒業研究ゼミⅠ	4前	1			1		94190003
		卒業研究ゼミⅡ	4後	1			1		94190004
		卒業論文	4通	4			集中		94190005
留学生科目	日本語Ⅰ	1前		2		2		95201001	
	日本語Ⅱ	1後		2		2		95201002	
	日本語Ⅲ	2前		2		2		95201003	
	言葉と文化（日本語）Ⅰ	2後		1		1		95201004	
	言葉と文化（日本語）Ⅱ	3前		1		1		95201005	
卒業要件			基礎・主題科目		30単位以上				
			専門基本科目		30単位以上				
			専門展開科目		60単位以上				
合計				124単位以上					
なお、専門展開科目のうち「経済学系科目」「経営学系科目」「環境系科目」「健康系科目」の選択科目からそれぞれ2単位以上、「地域活性科目」の選択科目から4単位以上を選択必修とする。 留学生は、留学生科目の単位を基礎科目の外国語系科目の単位に代えることができる。									

注) 自由科目は、卒業単位に含まれない。

7. 公衆衛生看護学専攻科教育課程表

公衆衛生看護学専攻科は、文部科学省より定員 10 人の保健師学校として指定されています。そのため、指定科目を履修して修了すれば、保健師国家試験受験資格が得られます。

	科目名	開講学期	単位数		週授業回数	備考	ナンバリング
			必修	選択			
専門基本科目	疫学	前	2		1		83111101
	保健統計学	前	2		1		83111202
	保健医療福祉行政論Ⅰ（基礎）	前	2		1		83111303
	保健医療福祉行政論Ⅱ（応用）	通	2		1		83111304
専門展開科目	公衆衛生看護学概論	前	2		1		84110105
	地域看護診断	前	2		1		84110207
	地域看護診断演習	通	2		1		84110208
	家族・対象別公衆衛生看護展開論	前	2		1		84110309
	家族・対象別公衆衛生看護展開論演習	通	2		1		84110310
	地域公衆衛生看護活動論	前	2		1		84110312
	地域公衆衛生看護活動論演習	通	2		1		84110313
	産業保健活動論	前	1		1	8回授業	84110314
	地域保健フィールド演習	通	2		1		84110315
	地域健康危機管理論	前	1		1	8回授業	84110216
	地域と看護	後		1	1	8回授業	84110206
	保健活動共創論	後		1	1	8回授業	84110211
	家族・対象別継続支援実習	通	2		集中		84112117
	地域・ヘルスプロモーション実習	通	3		集中		84112218
修了要件			専門基本科目	必修 8単位			
			専門展開科目	必修 23単位、選択 1単位以上			
合 計			32単位以上				

8. 金城大学大学院教育課程表

総合リハビリテーション学研究科総合リハビリテーション学専攻 教育課程表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態	
			必修	選択	自由	講義	演習
基礎科目	医療健康学特論	1 前		2		○	
	リハビリテーション医学特論	1 前		2		○	
	総合リハビリテーション学研究特論Ⅰ	1 前	2			○	
	総合リハビリテーション学研究特論Ⅱ	1 後・2 前	2			○	
	リハビリテーション統計学特論	1 前		2		○	
	教育学特論Ⅰ	1 前・1 後		2		○	
	教育学特論Ⅱ	1 後・2 前		2		○	
	地域リハビリテーション特論	1 後		2		○	

I 理念・ポリシー
II 学
III KINOPOTAL
IV 授業試験成績評価単位
V 教育課程
VI 人間社会科と資格
VII 医療健康学部と資格
VIII 看護学部と資格
IX 総合経済学部と資格
X 公衆衛生看護学専攻科と資格
XI 学生支援
XII 施設・設備
XIII 付録

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態	
				必修	選択	自由	講義	演習
基礎科目		社会福祉特論	1 前		2		○	
		介護福祉特論	1 後		2		○	
		保育・幼児教育特論	1 後		2		○	
		看護特論	1 後		2		○	
		関連職種連携演習	1 前		2			○
専門科目	基礎リハビリテーション領域	基礎リハビリテーション特論Ⅰ	1 前		2		○	
		基礎リハビリテーション演習Ⅰ	1 後		2			○
		基礎リハビリテーション特論Ⅱ	1 前		2		○	
		基礎リハビリテーション演習Ⅱ	1 後		2			○
		基礎リハビリテーション特別研究	1 前～2 後		10			○
	発達・心理・福祉・教育領域	発達・心理・福祉・教育特論Ⅰ	1 前		2		○	
		発達・心理・福祉・教育演習Ⅰ	1 後		2			○
		発達・心理・福祉・教育特論Ⅱ	1 前		2		○	
		発達・心理・福祉・教育演習Ⅱ	1 後		2			○
		発達・心理・福祉・教育特論Ⅲ	1 前		2		○	
		発達・心理・福祉・教育演習Ⅲ	1 後		2			○
		発達・心理・福祉・教育特別研究	1 前～2 後		10			○
	実践的リハビリテーション領域	実践的リハビリテーション特論Ⅰ	1 前		2		○	
		実践的リハビリテーション演習Ⅰ	1 後		2			○
		実践的リハビリテーション特論Ⅱ	1 前		2		○	
		実践的リハビリテーション演習Ⅱ	1 後		2			○
		実践的リハビリテーション特論Ⅲ	1 前		2			
		実践的リハビリテーション演習Ⅲ	1 後		2			
		実践的リハビリテーション特論Ⅳ	1 前		2		○	
		実践的リハビリテーション演習Ⅳ	1 後		2			○
		実践的リハビリテーション特論Ⅴ	1 前		2		○	
		実践的リハビリテーション演習Ⅴ	1 後		2			○
		実践的リハビリテーション特論Ⅵ	1 前		2		○	
		実践的リハビリテーション演習Ⅵ	1 後		2			○
		実践的リハビリテーション特別研究	1 前～2 後		10			○
【修了要件】30 単位		基礎科目	必修 4 単位	} 選択 26 単位				
		専門科目						
計		30 単位						

注 1) 研究指導教員が指定する専門科目の特論、演習、特別研究を含む 30 単位以上を修得し、別に定める論文審査 (最終試験) に合格すること。
注 2) 大学教員を志望する場合は、大学教員になるために必要な「教育学に関する科目 4 単位」に該当する科目「教育学特論Ⅰ (2 単位)」及び「教育学特論Ⅱ (2 単位)」を修得すること。

長期履修生制度

金城大学大学院は社会人学生等を対象として、計画的な長期在学・履修により就学の便宜と授業料の軽減を図るため、長期履修生制度を設けています。長期履修の期間は、3 年または 4 年とし、入学時点に決定するものです。

〈備考〉

基礎科目
主觀科目
專門基本科目
專門展開科目
留學生科目

注：科目名の後ろの数字は「卒業認定・学位授与の方針」の主たる該当番号を表している。

- (1) 福祉社会のリーダーとしての資質と豊かな人間性を支える幅広い教養を身につけている。
- (2) 保育、幼児教育及び福祉領域に関する基本的知識を修得し、専門的知識・技能を身につけている。
- (3) 子どもを取り巻く環境の課題を発見・理解し、課題解決に向けて、適切な方法で研究・実践することができる。
- (4) 子ども・家庭や子どもに関与する地域の諸機関と良好なコミュニケーションをとって、専門分野を割を果たすことができる。

	1 年	2 年	3 年	4 年	Ⅶ	Ⅷ		
教 育 科 目	I スポーツ論 (1) 英語 I (1) 学習方法演習 I (1) 教養ゼミⅢ (1) ポラテンティア入門 (1) 文書処理演習 (1)	II スポーツ理論 (1) 英語 II (1) 学習方法演習 II (1) 情報処理演習 I (1) 日本語表現 (1) 教養ゼミⅡ (1)	III 英語 III (1) 言葉と文化 (英語) I (1) 言葉と文化 (中国語) I (1) 基礎演習 I (1) 情報処理演習 II (1) 教養ゼミⅢ (1)	IV 英語Ⅳ (1) 言葉と文化 (英語) II (1) 言葉と文化 (中国語) II (1) 基礎演習 II (1) データサイエンス (1) 健康科学 (1) 人文地理 (1)	V レクリエーション活動Ⅰ (1) 言葉と文化 (英語) III (1) 言葉と文化 (中国語) III (1) 宗教学 (1) 法学 (憲法) I (1) 生命科学 (1) 自然科学 (1) 日本史Ⅰ (1) 日本史Ⅱ (1) 日本文学 (1) 経済学Ⅰ (1)	VI レクリエーション活動Ⅱ (1) 言葉と文化 (英語) IV (1) 言葉と文化 (中国語) IV (1) 哲学 (1) 法学Ⅱ (1) 生命科学 (1) 自然科学 (1) 日本史Ⅰ (1) 日本史Ⅱ (1) 日本文学 (1) 経済学Ⅱ (1)	Ⅶ 政治学 (1) 統計学 (1) 西洋史 (1) 自然地理 (1) 東洋史 (1) 地誌 (1)	
	幼児教育・保育の基礎となる教養を学ぶ科目群						DP1 福祉社会のリーダーとしての資質と豊かな人間性を支える幅広い教養を身につけている。	
社会福祉の理解	日本語Ⅰ (1) ポラテンティア活動Ⅰ (1) 社会福祉概論Ⅰ (2) 社会学 (2)	日本語Ⅱ (1) ポラテンティア活動Ⅱ (1) 社会福祉概論Ⅱ (2) 児童・家庭福祉論 (2)	日本語Ⅲ (1) ポラテンティア活動Ⅲ (1) 社会福祉概論Ⅲ (2) 社会福祉施設経営論 (2)	言葉と文化 (日本語)Ⅰ (1) 地域福祉論Ⅰ (2) 社会保険論Ⅰ (2) 介護福祉論Ⅰ (2) 公的扶助論 (2) 高齢者福祉論 (2) 社会調査 (2)	言葉と文化 (日本語)Ⅱ (1) 地域福祉論Ⅱ (2) 社会保険論Ⅱ (2) 介護福祉論Ⅱ (2) 医療福祉論 (2) 子育て支援 (2)	社会福祉史 (2) 刑事司法と福祉 (2) 権利擁護と成年後見 (2)	DP2 保育・幼児教育及び福祉領域に関する基本的知識を修得し、専門的知識・技能を身につけている。	
人間と社会を理解するための科目群	ソーシャルワーク論Ⅰ (3) 海外文化・福祉事情 (3)	ソーシャルワーク論Ⅱ (3) 海外文化・福祉事情 (3)	ソーシャルワーク論Ⅲ (3) ソーシャルワーク演習Ⅰ (3) 教育制度論 (3) 子ども家庭支援論 (3)	ソーシャルワーク論Ⅳ (3) ソーシャルワーク演習Ⅱ (3) ソーシャルワーク実習Ⅰ (4) ソーシャルワーク実習Ⅱ (4)	ソーシャルワーク論Ⅴ (3) ソーシャルワーク演習Ⅲ (3) ソーシャルワーク実習Ⅱ (4) ソーシャルワーク実習Ⅲ (4) ジェンダー (3)	ソーシャルワーク演習Ⅳ (3) ソーシャルワーク実習Ⅲ (4) ソーシャルワーク実習Ⅳ (4) 国際福祉政策 (3) 手話 (3) 点字 (3) 公衆衛生学 (3)	DP3 子どもや子どもを取り巻く環境の諸課題を発見・理解し、課題解決に向けて、適切な方法で研究・実践することができる。	
こころとからだ	心理学Ⅰ (2) 発達心理学Ⅰ (3) 医学一般 (2) 子どもの健康と安全 (3)	心理学Ⅱ (2) 発達心理学Ⅱ (3) 医学一般 (2) 子どもの健康と安全 (3)	発達心理学Ⅲ (3) 発達心理学Ⅳ (3) 母子保健 (3)	臨床心理学Ⅰ (3) 幼児理解と教育相談 (3) カウンセリングⅠ (3) カウンセリングⅡ (3)	臨床心理学Ⅱ (3) 子ども家庭支援の心理学 (3) カウンセリングⅠ (3) カウンセリングⅡ (3)	臨床心理学Ⅲ (3) 子ども家庭支援の心理学 (3) カウンセリングⅠ (3) カウンセリングⅡ (3)	生理学 (2)	
教育・保育の理論と内容	器楽Ⅰ (2) 幼児体育 (1) 幼児教育者論 (3) 幼児教育原理 (3) 教育課程総論 (3) 保育課程論 (3) 保育原理Ⅰ (3) 社会的養護Ⅰ (3) 乳児保育Ⅰ (3) 幼児と言葉 (3)	器楽Ⅱ (2) 器楽Ⅲ (2) 保育者論 (3) 障害児保育 (3) 障害児保育演習Ⅰ (3)	器楽Ⅳ (2) 器楽Ⅴ (2) 保育者論 (3) 障害児保育 (3) 障害児保育演習Ⅱ (3)	器楽Ⅵ (2) 器楽Ⅶ (2) 保育者論 (3) 障害児保育 (3) 障害児保育演習Ⅲ (3) 保育内容 (健康)指導法Ⅱ (3) 保育内容 (環境)指導法Ⅲ (3) 保育内容 (人間関係)指導法Ⅱ (3) 保育内容 (人間関係)指導法Ⅲ (3) 保育内容 (音楽表現)指導法Ⅱ (3) 保育内容 (音楽表現)指導法Ⅲ (3) 保育内容 (造形表現)指導法Ⅱ (3) 保育内容 (造形表現)指導法Ⅲ (3)	器楽Ⅷ (2) 器楽Ⅷ (2) 保育者論 (3) 障害児保育 (3) 障害児保育演習Ⅳ (3) 保育内容 (健康)指導法Ⅲ (3) 保育内容 (環境)指導法Ⅳ (3) 保育内容 (人間関係)指導法Ⅳ (3) 保育内容 (音楽表現)指導法Ⅳ (3) 保育内容 (造形表現)指導法Ⅳ (3)	器楽Ⅷ (2) 器楽Ⅷ (2) 保育者論 (3) 障害児保育 (3) 障害児保育演習Ⅳ (3) 保育内容 (健康)指導法Ⅲ (3) 保育内容 (環境)指導法Ⅳ (3) 保育内容 (人間関係)指導法Ⅳ (3) 保育内容 (音楽表現)指導法Ⅳ (3) 保育内容 (造形表現)指導法Ⅳ (3)	特別支援教育概論 (3) 子どもに文化 (1) 子どもの理解と援助 (3) 子どもの食と栄養Ⅱ (3) 子どもの食と栄養Ⅲ (3)	DP4 子ども・家庭や子どもに関連する地域の諸機関と良好なコミュニケーションをとり、専門分野で役割を果たすことができる。
実習	早期現場体験指導 (4) 早期現場体験 (4)	保育実習指導Ⅰ-A (4) 保育実習Ⅰ-A (4)	保育実習指導Ⅰ-B (4) 保育実習Ⅰ-B (4)	保育実習指導Ⅱ (4) 保育実習Ⅱ (4)	幼児教育実習指導Ⅰ (4) 幼児教育実習Ⅰ (4)	卒業研究ⅢⅠ (3) 卒業論文 (3)	卒業研究ⅢⅡ (3) 卒業論文 (3)	
専門知識を基に専門的研究を行う科目群					基礎ゼミⅢ (3) 基礎ゼミⅢⅡ (3)	卒業研究ⅢⅢ (3) 卒業論文 (3)	福祉総合演習 (3) 福祉総合演習Ⅱ (3)	

2025年度履修系統図・カリキュラムマップ (理学療法学科)

	基礎科目	主観科目	専門基本科目	専門展開科目	(1)年	(2)年	(3)年	(4)年		
	I	II	III	IV			V	VI	VII	VIII
指定科目の教育内容	レクリエーション活動Ⅰ(1) 英語Ⅰ(1) 英語Ⅱ(1) 情報処理演習(1) 基礎演習Ⅰ(1)(4) ボランティア入門(1) ボランティア活動Ⅰ(1) 健康科学(1) 自然科学Ⅰ(生物系)(1) 自然科学Ⅲ(物理解系)(1) 自然科学Ⅳ(化学系)(1) 自然科学概論(1) 高齢者福祉論(1) 心理学Ⅰ(2)	スポーツ(1) レクリエーション活動Ⅱ(1) 英語Ⅲ(1) 英語Ⅳ(1) 基礎演習Ⅱ(1)(4) 生命と医療の倫理(1) 自然科学Ⅱ(物理系)(1) 自然科学Ⅴ(化学系)(1) データサイエンス(1) 障害者福祉論(1) 心理学Ⅱ(2)	スポーツ理論(1) 言葉と文化(英語)Ⅰ(1) 言葉と文化(中国語)Ⅰ(1) ボランティア活動Ⅱ(1)				医学英語(1) 統計学(1)			
	解剖学Ⅰ(2) 解剖学Ⅱ(2) 解剖学実習(2) 生理学Ⅰ(2) 生理学実習(2)	解剖学Ⅲ(2) 生理学Ⅱ(2)	法学(憲法)Ⅰ(1) 日本文学Ⅰ(1) 社会学Ⅰ 法学Ⅱ(1) 日本文学Ⅱ(1)	社会学Ⅰ 法学Ⅱ(1) 日本文学Ⅱ(1)	介護福祉論Ⅰ(1) 人文地理(1) ソーシャルワーク論Ⅰ(1)			介護福祉論Ⅱ(1) ソーシャルワーク論Ⅱ(1)		
人体の構造と機能及び心身の発達										
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	公衆衛生学(2) 医学概論(2) 安全管理Ⅰ(2) 感染防御Ⅰ(2)	臨床心理学Ⅱ(2) 精神医学Ⅱ(2) 内科学Ⅰ(2) 整形外科Ⅰ(2) 神経内科学Ⅰ(2) 小児科学Ⅱ(2) 老年学Ⅱ(2)	人間発達学(2) 臨床心理学Ⅰ(2) 運動学Ⅰ(2) 運動学Ⅱ(2) 運動学実習(2)(3)	臨床心理学Ⅱ(2) 病理解(2) 内科学Ⅱ(2) 整形外科Ⅱ(2) 神経内科学Ⅱ(2)			カウンセリング演習(4) 栄養・薬理学(2)			高齢者の心理(2)(4) 障害者の心理(2)(4)
保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論(2) 社会福祉概論Ⅰ(1) 理学療法学概論(2)	リハビリテーション医学Ⅱ(2) 社会福祉概論Ⅱ(1) 理学療法評価概論(2)	基礎理学療法治療学(2) 検査・測定論Ⅰ(2) 検査・測定実習Ⅰ(2)(4) 運動療法学Ⅰ(2) 物理療法学Ⅱ(2) 日常生活活動学Ⅱ(3)	地域リハビリテーション学Ⅱ(3) 理学療法研究法Ⅱ(3) 痛能運動学Ⅱ(2) 理学療法画像評価学Ⅱ(2) 運動療法学実習Ⅱ(3) 理学療法治療学Ⅰ(運動器)(2)(3) 理学療法治療学Ⅱ(中枢)(1)(2)(3) 理学療法治療学Ⅲ(中枢)(2)(2)(3) 理学療法治療学Ⅳ(内部疾患)(2)(3) 理学療法治療学Ⅴ(小児)(2)(3) リハビリテーション・マネジメント演習Ⅲ(5) 理学療法治療学実習Ⅰ(2)(3) 義肢装具学Ⅱ 地域福祉論Ⅱ(5)						ケアマネージメントⅡ(2)
基礎理学療法学										
理学療法評価学										
理学療法治療学										
地域理学療法学										
理学療法管理学										
臨床実習										
その他の科目	見学実習Ⅱ(2)(4) 地域支援実習Ⅱ(5)		総合臨床実習Ⅰ(通所・訪問)(3)(5) 密着臨床能力評価Ⅱ(2)(4)				理学療法管理学Ⅱ(5) 総合臨床実習Ⅱ(評価)(3)(5) 卒業研究ゼミⅠ(2)(3) 卒業論文Ⅱ(2)(3)			卒業研究ゼミⅡ(2)(3) 総合学習Ⅱ(5)

DP1
豊かな人間性と医療倫理観を支える幅広い教養を身につけている。

DP2
理学療法士として、
科学的根拠に基づい
た知識・技能と態度
を身につけている。

DP3
保健・医療ならびに
地域での課題を発
見・理解し、解決に
向けて論理的思考力
を持って主体的に取
組むことができる。

DP4
対象者、その家族に
寄添い、理学療法の
実践に必要なコミュ
ニケーション能力を
身につけている。

DP5
医療チームの一員として、協働性とマネジメント能力を身につけている。

2025年度履修系統図・カリキュラムマップ(作業療法学科)

指定科目の教育内容	基礎科目		専門基本科目		専門展開科目		(3)年		(4)年	
	(1)年	主 題 科 目	(2)年	主 題 科 目	(3)年	主 題 科 目	(3)年	主 題 科 目	(4)年	主 題 科 目
科学的思考の基礎・ 人間の生活	I レクリエーション活動Ⅰ(1) 英語Ⅰ(1) 英語Ⅲ(1) 英語Ⅳ(1) 情報処理演習(1) 基礎演習Ⅰ(1)(4) ポランティア活動Ⅰ(1) ポランティア活動Ⅱ(1)	II スポーツ((1)) レクリエーション活動Ⅱ(1) 英語Ⅰ(1) 英語Ⅲ(1) 英語Ⅳ(1) 基礎演習Ⅱ(1)(4) ポランティア活動Ⅰ(1) ポランティア活動Ⅱ(1)	III スポーツ理論(1) 言葉と文化(英語)Ⅰ(1) 言葉と文化(中国語)Ⅰ(1) 言葉と文化(中国語)Ⅱ(1) 言葉と文化(中国語)Ⅱ(1) ポランティア活動Ⅱ(1)	IV 言葉と文化(英語)Ⅱ(1) 言葉と文化(中国語)Ⅱ(1) 言葉と文化(中国語)Ⅱ(1) 社会学(1) 法学Ⅰ(1) 日本文学Ⅰ(1) 社会学(1) 法学Ⅱ(1) 日本文学Ⅱ(1)	V 介護福祉論Ⅰ(1) ソーシャルワーク論Ⅰ(1) 人文地理(1) 医療関係法(1) 東洋史(1)	VI 医学英語(1) 統計学(1)	医学英語(1) 統計学(1)	介護福祉論Ⅱ(1) ソーシャルワーク論Ⅱ(1)	Ⅶ	Ⅶ
	解剖学Ⅰ(2) 解剖学Ⅱ(2) 解剖学実習(2) 生理学Ⅰ(2) 生理学実習(2)	解剖学Ⅲ(2) 生理学Ⅱ(2)	運動学Ⅰ(2) 人間発達学(2)	臨床心理学Ⅱ(2) 精神医学(2) 内科学Ⅰ(2) 内科学Ⅱ(2) 整形外科Ⅱ(2) 神経内科学Ⅱ(2) 小児科学(2) 老年学(2)	臨床心理学Ⅱ(2) 運動学Ⅱ(2) 運動学実習(2)(3)	カウンセリング演習(4) 栄養学・薬理学(2)	高齢者の心理(2)(4) 障害者の心理(2)(4)	高齢者の心理(2)(4) 障害者の心理(2)(4)	Ⅷ	Ⅷ
	公衆衛生学(2)	医学概論(2) 安全管理Ⅰ(2) 感染防御Ⅰ(2)	臨床心理学Ⅰ(2) 精神医学(2) 内科学Ⅰ(2) 内科学Ⅱ(2) 整形外科Ⅰ(2) 神経内科学Ⅰ(2) 小児科学(2) 老年学(2)	臨床心理学Ⅰ(2) 精神医学(2) 内科学Ⅰ(2) 内科学Ⅱ(2) 整形外科Ⅰ(2) 神経内科学Ⅰ(2) 小児科学(2) 老年学(2)	臨床心理学Ⅰ(2) 精神医学(2) 内科学Ⅰ(2) 内科学Ⅱ(2) 整形外科Ⅰ(2) 神経内科学Ⅰ(2) 小児科学(2) 老年学(2)	臨床心理学Ⅰ(2) 精神医学(2) 内科学Ⅰ(2) 内科学Ⅱ(2) 整形外科Ⅰ(2) 神経内科学Ⅰ(2) 小児科学(2) 老年学(2)	臨床心理学Ⅰ(2) 精神医学(2) 内科学Ⅰ(2) 内科学Ⅱ(2) 整形外科Ⅰ(2) 神経内科学Ⅰ(2) 小児科学(2) 老年学(2)	臨床心理学Ⅰ(2) 精神医学(2) 内科学Ⅰ(2) 内科学Ⅱ(2) 整形外科Ⅰ(2) 神経内科学Ⅰ(2) 小児科学(2) 老年学(2)	臨床心理学Ⅰ(2) 精神医学(2) 内科学Ⅰ(2) 内科学Ⅱ(2) 整形外科Ⅰ(2) 神経内科学Ⅰ(2) 小児科学(2) 老年学(2)	臨床心理学Ⅰ(2) 精神医学(2) 内科学Ⅰ(2) 内科学Ⅱ(2) 整形外科Ⅰ(2) 神経内科学Ⅰ(2) 小児科学(2) 老年学(2)
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念 作業療法概論(2)	リハビリテーション概論Ⅰ(1) 社会福祉概論Ⅱ(1) 作業療法概論Ⅱ(2)	リハビリテーション概論Ⅱ(2) 社会福祉概論Ⅰ(1) 作業療法概論Ⅰ(1) 作業療法概論Ⅱ(2)	リハビリテーション概論Ⅲ(2) 社会福祉概論Ⅱ(1) 作業療法概論Ⅰ(1) 作業療法概論Ⅱ(2)	リハビリテーション概論Ⅳ(2) 社会福祉概論Ⅲ(1) 作業療法概論Ⅰ(1) 作業療法概論Ⅱ(2)	リハビリテーション概論Ⅴ(2) 社会福祉概論Ⅳ(1) 作業療法概論Ⅰ(1) 作業療法概論Ⅱ(2)	リハビリテーション概論Ⅵ(2) 社会福祉概論Ⅴ(1) 作業療法概論Ⅰ(1) 作業療法概論Ⅱ(2)	リハビリテーション概論Ⅶ(2) 社会福祉概論Ⅵ(1) 作業療法概論Ⅰ(1) 作業療法概論Ⅱ(2)	リハビリテーション概論Ⅷ(2) 社会福祉概論Ⅶ(1) 作業療法概論Ⅰ(1) 作業療法概論Ⅱ(2)	リハビリテーション概論Ⅸ(2) 社会福祉概論Ⅸ(1) 作業療法概論Ⅰ(1) 作業療法概論Ⅱ(2)
基礎作業療法学										
作業療法管理学										
作業療法評価学										
作業療法治療学										
地域作業療法学										
臨床実習										
その他の科目										

- DP1

豊かな人間性と医療倫理観を支える幅広い教養を身につけている。
- DP2

作業療法士として、科学的根拠に基づいた知識・技能と態度を身につけている。
- DP3

保健・医療ならびに地域での課題を発見・理解し、解決に向けて論理的思考力を持って主体的に取り組むことができる。
- DP4

対象者、その家族に寄り添い、作業療法の実践に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
- DP5

医療チームの一員として、協調性とマネージメント能力を身につけている。

2025年度履修系統図・カリキュラム・マップ(看護学科)

[illegible]

2025年度履修系統図・カリキュラムマップ(公衆衛生看護学専攻科)

【專門基本科目群】

CP 1	専門基本科目群と専門履修開閉科目群の教育内容を関連づけて講義・演習・実習科目を配置し、知識と実践を統合できるような体系的な学習とする。
	① 経済学、法学や保健に関する統計、政策や疾病など公衆衛生看護活動を展開するとして基礎的な知識を深めるとともに、基礎的な能力を高める。② 地域及び地域を構成する人々を対象とした公衆衛生看護の健康増進・保健・学校保健活動、危機管理業務、公衆衛生看護活動に関する専門知識、技術を高める科目を設置する。
CP 2	③ 地域の健康水準を高めるために、多職種との協働、社会資源の開発、施策化及びシステム化の能力を高める科目を設置する。
	公衆衛生看護の実践能力を高めるために、実践的な事例を用いたシミュレーション教育や地域保健に必要とする専門職・地域のの方々から学生が体験を取り入れる。
CP 3	学生の主体性を育み、グループディスカッションや体験学習等の能動的学習方法を導入する。

実施方法

①これまでで看護学の学びを基盤として、さらに1年間で公衆衛生看護学を深く学び、専門的な知識や技術を修得することによって、看護職として活躍する場を広げます。

②学生が主体的に実習に取り組み、自らの学習課題を明確化する能力や、地域の現状と看護課題を理解する方法を修得します。継続的に公衆衛生看護活動を展開することができ、保健師に必要な知識や技術、態度とともに実践的な能力を身に付けます。

③きめ細かな教育、指導体制により、学生一人ひとりの関心や問題意識に合わせて教育を行います。また、学生を通じたディメンシアケアや学生を通して、幅広い考え方や価値観、コミュニケーションスキルを修得します。

④公衆衛生看護学専攻科の履修科目の他に、既設の理学療法部、医療健康学部や人間生活科学部の開講科目が履修可能です。これにより、保健・医療、福祉の多職種連携の基礎より専門性の高い保健師に必要なとなる幅に知識を修得する必要があります。

⑤演習・実習科目は、通年で開講されます。

	専門基本科目群	専門展開科目群	専門基本科目群	専門展開科目群
指定科目の教育内容	1年			
	I		II	
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論【1,2,3,4,5】	地域看護診断【1,2,3,4,5】 地域看護診断演習【1,2,3,4,5】 家族・対象別公衆衛生看護展開論【1,2,3,4,5】 家族・対象別公衆衛生看護展開論演習【1,2,3,4,5】 地域公衆衛生看護活動論【1,2,3,4,5】 地域公衆衛生看護活動論演習【1,2,3,4,5】 産業保健活動論【1,2,3,4,5】 地域保健フィールド演習【1,2,3,4,5】 地域健康危機管理論【1,2,3】	地域看護診断演習【1,2,3,4,5】 家族・対象別公衆衛生看護展開論演習【1,2,3,4,5】 地域公衆衛生看護活動論演習【1,2,3,4,5】 地域保健フィールド演習【1,2,3,4,5】 地域と看護【1,2,5】 保健活動共創論【1,4,5】	DP 1 地域そのものを看護の対象として捉え、様々な環境の中で暮らす人々の健康課題を明確化し、解決・改善策を計画・立案・実施・評価できる能力を身につけている。 DP 2 地域住民が自らの健康状態を認識し、健康の保持増進を図れるよう支援することともに、人々が自主的に社会資源を活用できるよう支援し、これら成果を評価できる能力を身につけている。 DP 3 健康危機管理の体制を整え、健康危機の発生時から回復期の健康課題を早期に見し、迅速かつ組織的に対応できる能力を身につけている。 DP 4 地域の健康水準を高めるために、保健・医療・福祉サービスを調整して多職種連携し、活用する能力及び地域の健康課題の解決に必要な社会資源を開発し、施策化及びシステム化することができる。 DP 5 保健・医療・福祉及び社会に関する最新の知識・技術を主体的・継続的に学び、コミュニケーション能力を備えて実践することができる。
個人・家族・集団・組織の支援 公衆衛生看護活動展開論 公衆衛生看護管理論				
疫学	疫学【1,3,5】			
保健統計学	保健統計学【1,3,5】			
保健医療福祉行政論	保健医療福祉行政論Ⅰ（基礎）【1,2,4】 保健医療福祉行政論Ⅱ（応用）【1,2,4】			
個人・家族・集団・組織の支援実習 公衆衛生看護活動展開論実習 公衆衛生看護管理論実習	家族・対象別継続支援実習【1,2,3,4,5】 地域・ヘルスプロモーション実習【1,2,3,4,5】	家族・対象別継続支援実習【1,2,3,4,5】 地域・ヘルスプロモーション実習【1,2,3,4,5】	家族・対象別継続支援実習【1,2,3,4,5】 地域・ヘルスプロモーション実習【1,2,3,4,5】	

金城大学教学委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、金城大学管理運営規程第4条第3項に規定する教学委員会（以下、「委員会」という。）の構成及び運営について、必要な基本的事項を定めることを目的とする。

(役割)

第2条 委員会は、教務及び学生の厚生補導に関する基本方針並びに次の各号に掲げる事項について審議し、教授会又は大学運営委員会に報告するものとする。

- (1) 学生の入学資格に関する事項
- (2) 学生の学籍及び学籍異動に関する事項
- (3) 学生の賞罰に関する事項
- (4) 教育課程に関する事項
- (5) 学年歴に関する事項
- (6) 授業計画及び運用に関する事項
- (7) 学生の学習に関する事項
- (8) 定期試験、追試験及び特別試験に関する事項
- (9) 各種資格に関する事項
- (10) 学生の生活指導に関する事項
- (11) 学生の健康管理に関する事項
- (12) 学生の課外活動及び行事に関する事項
- (13) 学生の奨学援助に関する事項
- (14) その他教務及び学生の厚生補導に関する事項

(構成)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 教学委員長（以下、「委員長」という。）
 - (2) 教学支援事務部長又は相当の職にある者
 - (3) 学長が任命した職員
- 2 教学支援部長は委員会に出席し発言することができる。
- 3 委員長は、必要に応じて関係ある職員の出席を求めることができる。

(任期)

第4条 前条第1項第3号の委員の任期は、1年とし、再任を妨げないものとする。ただし、任期の途中において退任した委員の後任者の任期は、その残任期間とする。

(所管)

第5条 委員会の事務は、教学支援部が所管する。

(招集)

第6条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

2 議長事故あるときは、あらかじめ委員長が指名した者がこれに代わる。

(定足数)

第7条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ開催することができない。

2 委員長は、やむを得ない理由により委員会の招集が困難な場合、委員会の招集を行わず、書面又は電磁的記録により委員全員の同意を得ることにより、委員会の決議に代えることができる。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、教授会の議を経て学長が行う。

附 則

1 この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

2 金城大学教務委員会規程（平成 19 年 4 月 1 日改正施行）及び金城大学学生委員会規程（平成 25 年 9 月 25 日改正施行）は、廃止する。

附 則

この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 30 年 9 月 25 日から施行する。

金城大学自己点検・評価委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、自己点検・評価委員会（以下「委員会」という。）の構成及び運営について必要な基本事項を定めることを目的とする。

(役割)

第2条 委員会は、金城大学点検・評価に関する規程に基づき、金城大学（以下「本学」という。）の教育研究水準の向上を図り、その目的及び責任を達成するため、教育研究活動及び管理運営等に関する自己点検・評価を、大学運営委員会とともに統括し、推進する。

2 自己点検・評価は、本学の選定する認証評価機関の評価に適合することを考慮しながら、実施するものとする。

3 委員会は、特定の事項に関し専門的見地から自己点検・評価を行うため、小委員会を設置することができる。

(任務)

第3条 委員会は、以下の各号の事項を行う。

- (1) 自己点検・評価項目の設定
- (2) 自己点検・評価の実施計画の策定
- (3) 自己点検・評価の分析
- (4) 自己点検・評価結果に基づく改善措置の策定
- (5) 自己点検・評価結果の教授会への報告
- (6) その他自己点検・評価に関する必要事項

(構成)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 自己点検・評価委員長（以下「委員長」という。）
- (2) 学長が任命した教育職員
- (3) 総務企画部長又は相当の職にある者
- (4) その他学長が必要と認める者

2 委員長は、必要に応じて関係ある職員の出席を求めることができる。

(任期)

第5条 前条第1項第2号の委員の任期は1年とし、再任を妨げないものとする。ただし、任期の途中において退任した構成員の後任者の任期は、その残任期間とする。

(所管)

第6条 委員会の事務は、総務企画部が行う。

(招集)

第7条 委員長は委員会を招集し、その議長となる。

2 議長事故あるときは、あらかじめ委員長が指名した者がこれに代わる。

(定足数)

第8条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ開催することができない。

2 委員長は、やむを得ない理由により委員会の招集が困難な場合、委員会の招集を行わず、書面又は電磁的記録により委員全員の同意を得ることにより、委員会の決議に代えることができる。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、教授会の議を経て学長が行う。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年10月16日から施行する。

大学等名	金城大学（総合経済学部）	申請レベル	応用基礎レベル（学部・学科等単位）
教育プログラム名	数理・データサイエンス・AI応用基礎プログラム（総合経済学部）	申請年度	令和8年度

取組概要

目的	データから意味を抽出するとともにAIを活用し課題解決につなげる基礎能力を身に付け、かつ自らの専門分野に応用するための大局的な視点を獲得すること。				
身に付けることができる能力	① データを収集・処理・蓄積するための技術の概要を理解できるとともに、データ表現の基礎を理解できる。 ② コンピュータやAIの基本的な仕組みを説明することができ、それらが実社会とどのように関わっているかを説明できる。 ③ AI技術を自らの専門分野に応用し、課題解決につなげる提案ができる。				
科目の構成・修了要件	<table><tr><th>学部</th><th>対象科目【全ての科目を単位修得】</th></tr><tr><td>総合経済学部</td><td>統計学：2単位、1年前期 データサイエンスⅡ（経済・経営のためのビッグデータの分析）：2単位、2年前期 経済統計学：2単位、2年前期 Webプログラミング：1単位、2年後期 AI戦略論：2単位、3年後期 ※数学の素養を高めるため、基礎数学（1年前期）は履修を推奨</td></tr></table>	学部	対象科目【全ての科目を単位修得】	総合経済学部	統計学：2単位、1年前期 データサイエンスⅡ（経済・経営のためのビッグデータの分析）：2単位、2年前期 経済統計学：2単位、2年前期 Webプログラミング：1単位、2年後期 AI戦略論：2単位、3年後期 ※数学の素養を高めるため、基礎数学（1年前期）は履修を推奨
学部	対象科目【全ての科目を単位修得】				
総合経済学部	統計学：2単位、1年前期 データサイエンスⅡ（経済・経営のためのビッグデータの分析）：2単位、2年前期 経済統計学：2単位、2年前期 Webプログラミング：1単位、2年後期 AI戦略論：2単位、3年後期 ※数学の素養を高めるため、基礎数学（1年前期）は履修を推奨				